



文化交流施設整備の 取組状況について（中間報告）

令和6年3月13日

市原市 都市部 拠点形成課

I 事業概要

■ 目的

拠点別整備基本計画（五井編）で位置付けた文化交流ゾーンにおいて、**現市民会館の機能移転を念頭に、音楽と芸術の交流拠点機能等**（⇒「文化交流施設」）を整備する。



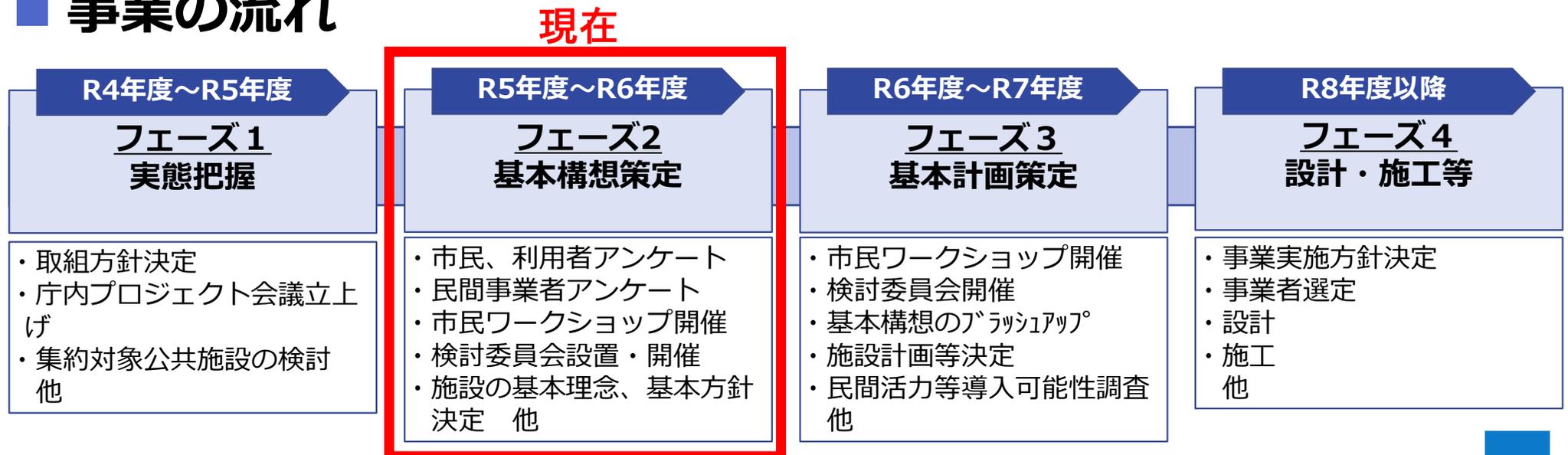
※イメージ図

I 事業概要

■ 経緯

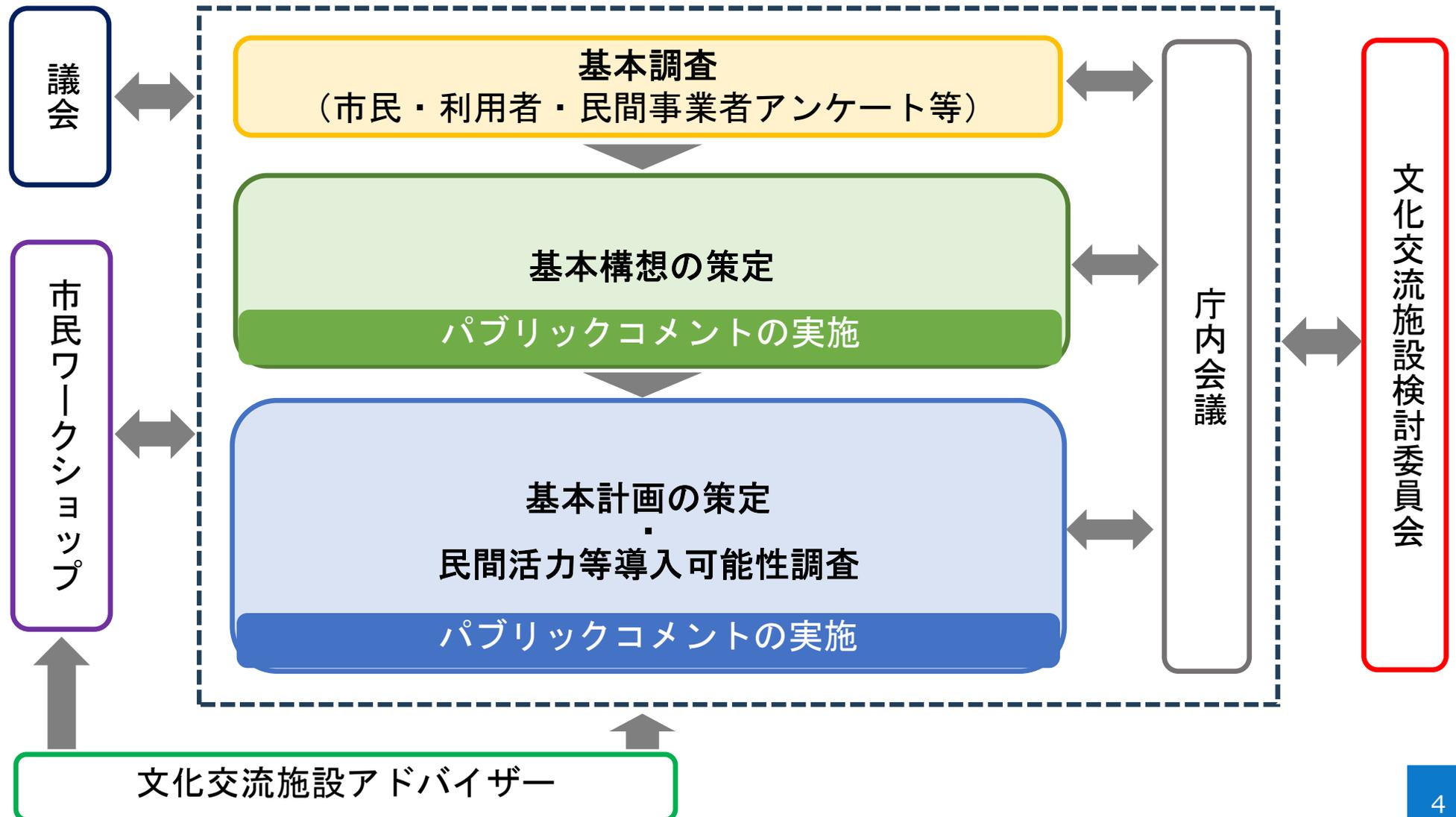
- 令和3年3月 市原市拠点まちづくりビジョン策定
- 令和4年10月 市原市拠点別整備基本計画（五井編）策定
- 令和4年11月 「文化交流施設の整備に係る取組方針」決定
- 令和5年10月～ 基本調査（市民・利用者・民間事業者アンケート等）の実施、市民ワークショップ・検討委員会の開催

■ 事業の流れ



I 事業概要

■ 文化交流施設整備に係る基本構想・基本計画の策定、民間活力等導入可能性調査の検討フロー



Ⅱ 現状

■ 市原市市民会館の現状

所在地 : 千葉県市原市惣社一丁目1番地1

開館 : 1974年5月29日（開館から49年経過）

敷地面積 : 19,873.95㎡

延床面積 : 11,802㎡

建築面積 : 6,426㎡

施設機能 : 大ホール（1,527席）、小ホール（491席）、
会議室 3室（定員42名/室）、茶室（6畳）、和室 等



大ホール



小ホール

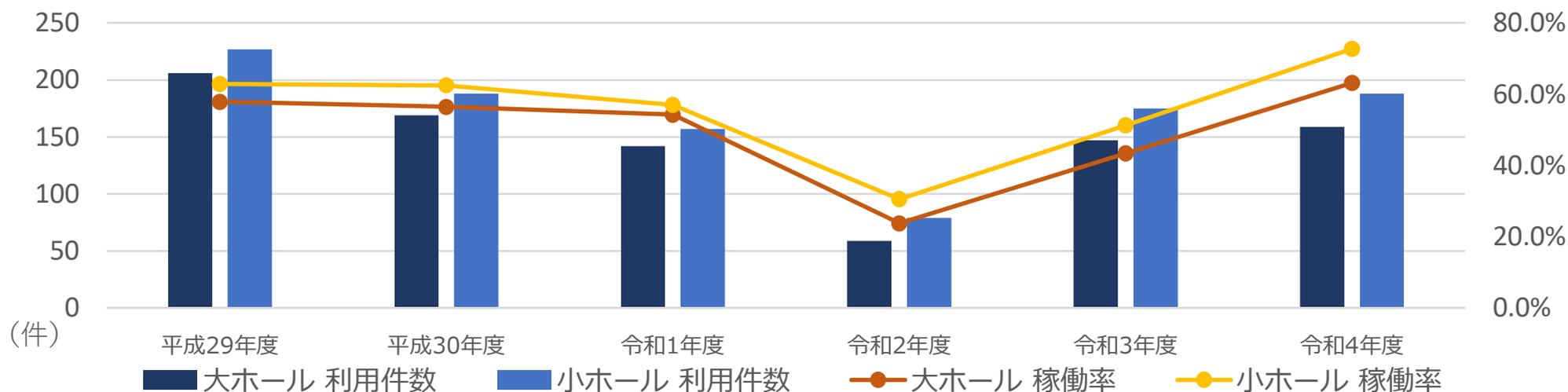
Ⅱ 現状

■ 市原市市民会館の施設利用状況

* 稼働率 = 利用日数 / 利用可能日数

		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度※	R3年度	R4年度※
利用件数 (件) [稼働率]*	大ホール	206 [57.9%]	169 [56.5%]	142 [54.3%]	59 [23.8%]	147 [43.4%]	159 [63.2%]
	小ホール	227 [62.9%]	188 [62.5%]	157 [57.0%]	79 [30.6%]	175 [51.3%]	188 [72.8%]
利用人数 (人)	大ホール	119,327	105,100	85,017	14,608	46,139	60,680
	小ホール	50,338	44,169	31,537	9,923	21,950	30,490

※R2年度は新型コロナウイルス感染拡大に伴い利用停止期間・利用人数制限あり
 ※R4年度はホール棟の改修工事のため休館期間あり（休館期間：4月～6月）



【利用件数及び稼働率の推移】

Ⅲ 基本調査の結果

- **ニーズの把握** . . . 既存施設の利用実態や課題、文化交流施設へのニーズ等を把握するため、以下①～④の調査を実施した。

①市民アンケート調査（満16歳以上の無作為抽出した市民4,000名）

- ・ 実施時期：令和5年11月～令和5年12月
- ・ 回答数：1,028件（回収率25.7%）※暫定値
- ・ 主な設問項目：

既存施設の利用状況（利用目的、交通手段、良い点・困った点）、文化交流施設のあり方について（施設面・運用面で重視すること、機能集約・再編に対する考え方）等
- ・ 主な回答
 - **文化交流施設の整備の方向性**として、「**駐車場や駐輪場**の広さ・台数にゆとりがある施設」「災害時への備えなど**安全・安心**な施設」「様々な施設が複合し、市民による**多様な活動や交流**が生まれる施設」が多かった（各約5割）。
 - **文化交流施設に期待する取組やサービス**として、「**大規模な催し・イベント・コンサートの誘致・開催**」が多かった（約5割）。
 - **機能集約・再編による効率的・効果的な事業推進**については、「**文化交流施設の方向性を踏まえたうえで、可能な範囲で取り組んだほうがよい**」が多かった（約4割）。

Ⅲ 基本調査の結果

②市外居住者向けアンケート調査（満16歳以上の県内居住者を対象としたWebアンケート）

- ・実施時期：令和6年1月
- ・回答数：420件（京葉エリア以南の7エリア×60票）
- ・主な設問項目：

市原市への来訪経験、来訪目的、文化ホールの利用経験、市原市の文化交流施設について（利用意向、重視する点）等
- ・主な回答
 - 直近5年間に市原市へ来訪したことが「ある」と回答したのは、全体の約6割であり、来訪目的は「買い物・食事」（約6割）や「観光・レジャー」（約3割）が多かった。
 - 直近10年間に文化ホール等を利用したことが「ある」と回答したのは、全体の約4割であり、利用した施設としては、千葉県文化会館が約25%と最も多く、市原市市民会館は約11%であった。
 - **文化交流施設を利用する上で特に重視する点として、「市原市まで足を延ばしてでも参加したいと思える催し」**が多かった（約7割）。
 - 「**駐車場や駐輪場の広さ・台数にゆとりがある**」「**公共交通でのアクセスがよい**」「**鑑賞するための環境が優れている**」が比較的多かった（各約3割）。

Ⅲ 基本調査の結果

③利用者アンケート調査（市民会館、五井公民館、生涯学習センター利用者）

- ・実施時期：令和5年10月～令和5年11月
- ・回答数：115件
- ・主な設問項目：

既存施設の利用状況（利用目的、交通手段、良い点・困った点）、文化交流施設のあり方について（施設面・運用面で重視すること）等

※主な回答は、次ページ参照。

Ⅲ 基本調査の結果

・利用者アンケート調査の主な回答

- ▶ **文化交流施設の施設面（機能、空間・建物、設備）で特に重視することとして、次の回答が多かった。**
 - ・「**駐車場や駐輪場**の広さ・台数にゆとりがある施設」
 - ・「様々な施設が複合し、市民による**多様な活動や交流**が生まれる施設」
 - ・「利用・活動を支える設備が充実し、**高い利便性・快適性**を備えた施設」
- ▶ 特に市民会館利用団体からは、「**ホールの音響性能や舞台装置等が優れた施設**」の回答も多かった。
- ▶ **文化交流施設の運営面（サービス内容、取組）で特に重視することとして、次の回答が多かった。**
 - ・「市民が**文化芸術に触れる**ことができる場や機会の充実」
 - ・「**大規模な催し・イベント・コンサート**の誘致・開催」
 - ・「市民が**生涯学習**を楽しめる場や機会の充実」
- ▶ 特に市民会館利用団体からは、「**小規模なイベント・発表会**の場や機会の充実」や「**市民が文化芸術を創造・発表**することができる場や機会の充実」の回答も多かった。

Ⅲ 基本調査の結果

④ 民間事業者意向調査（ホール・アリーナ運営企業、不動産企業、建設企業）

- ・ 実施時期：令和5年12月～令和6年1月
- ・ 回答数：21社（ホール・アリーナ運営企業：7社 / 不動産企業：4社 / 建設企業：10社）
- ・ 主な設問項目： 導入が想定される民間機能、文化交流施設におけるホール・アリーナ機能について（規模、整備運営方法）、本事業への関心 等

※主な回答は、次ページ参照。

Ⅲ 基本調査の結果

・ 民間事業者意向調査の主な回答

- 導入が想定される民間機能としては、**カフェなどの「飲食」やコンビニなど「物販」**が多かった。その他、特徴的なものとして、「子どものアート広場や室内遊び場」「シェアサイクルステーション」「有料の駐車場・駐輪場」「スポーツジム」「クリニック」などが挙げられた。
- **望ましい大ホールの席数**については、県中部～南部の拠点施設となる可能性や、全国ツアーの誘致が可能となるといった理由から**「1,500席」～「2,000席」**が多かった。
- **想定されるアリーナの規模**については、近郊にアリーナが複数あることなどの理由から、**市民利用中心の小規模（収容人数3,000人程度）～中規模（収容人数5,000人程度）**が多かった。
- **アリーナの運営**については、市を拠点とする室内プロスポーツチームが存在しないことから、**安定した収益が確保できない**との回答が複数挙げられた。
- **アリーナ機能の導入**については、**立地や想定される利用内容では、事業採算性が見込めない**との回答が多かった。
- **文化交流施設整備への関心**については、**16社より「大変関心がある」又は「関心がある」**との回答が得られた。

IV 市民ワークショップ等の開催状況

■ 市民ワークショップ（メンバー構成：関係団体、高校生、公募市民）

※令和5年度～令和7年度の間、全8回程度開催予定

● 第1回 令和5年10月29日 24名参加

- テーマ：①既存施設やまちのじまん・ふまん
②文化交流施設によって変わる未来像

➤ 主な意見

- ・じまんとしては「**有名アーティスト**の全国ツアー公演のスタート会場になることが多い」、「**自然が豊か**」、ふまんとしては「**アクセスが悪い**」、「**古い・バリアフリーでない**」、「**駅周辺の賑わいが不足**」等の意見が多く挙げられた。
- ・文化交流施設で変わる未来像として、「**誰もがいつでも訪れる**」、「**用事がなくても行きたくなる場所**」等の意見が多く挙げられた。

● 第2回 令和5年12月2日 28名参加

- テーマ：文化交流施設の年間スケジュールを考えよう

➤ 主な意見

- ・**プロの大型公演**を観たいという意見がある一方で、**市民自らが参加・体験するイベント**を重視する意見も多く挙げられた。
- ・「外での演奏会」など、**屋外イベント**のアイデアも多く挙げられた。



IV 市民ワークショップ等の開催状況

● 第3回 令和6年2月17日 29名参加

- テーマ：①「交流」ってなんだろう？まちと、地域とつながるには？
②必要な機能を考えよう

➤ 主な意見

- ・ 交流が生まれるためには、「**誰もが気軽に集まれる場所やイベント**」「**交流する相手に対する気持ち（興味・行動力・共感）**」等が必要といった意見が挙げられた。
- ・ まちと地域がつながるには、「**文化交流施設を拠点に地域の人や企業等を巻き込んだイベントの開催**」「**駅からの動線づくり**」「**アートミックス等との連携**」「**情報発信**」等が必要といった意見が挙げられた。
- ・ 必要な施設機能としては、「**フェスやコンサートができるホール**」「**防音機能を備えた練習室やリハーサル室**」「**フリースペースやオープンスペース**」「**市民ギャラリー**」「**カフェやフードコート**」等の意見が挙げられた。

● ニュースレターの作成

- 本事業の取組内容を市民等に周知するため、ワークショップ開催後に、ニュースレターを作成している。
- 作成したニュースレターは、市Webページで公開するとともに、公共施設等で配布している。



IV 市民ワークショップ等の開催状況

■ 文化交流施設検討委員会 （委員構成：学識経験者、関係団体、公募市民）



● 第1回 令和5年11月20日

- 議事：文化交流施設の整備について
 - ・これまでの取組について
 - ・今後の取組について

➤ 主な意見

- ・館内だけではなく、館外にも休憩場所、交流の場がある視点も重要と思われる。また、五井駅東口エリアでは、ウォークアブル空間の形成に関するプロジェクトも展開しているので、その繋がりを意識するとよい。
- ・今後整備する文化交流施設は、半世紀後まで使えるものになるよう考えていく必要がある。

● 第2回 令和6年2月28日

- 議事：文化交流施設整備の取組状況について（中間報告）

➤ 主な意見

- ・市原市にあるものを活かして、特徴のある施設とすることが重要である。
- ・外から人を呼ぶための他市との差異という視点の他、住んでいる人が魅力を感じ、日常的に使う場所としての特徴という視点もある。

V 文化交流施設への機能集約

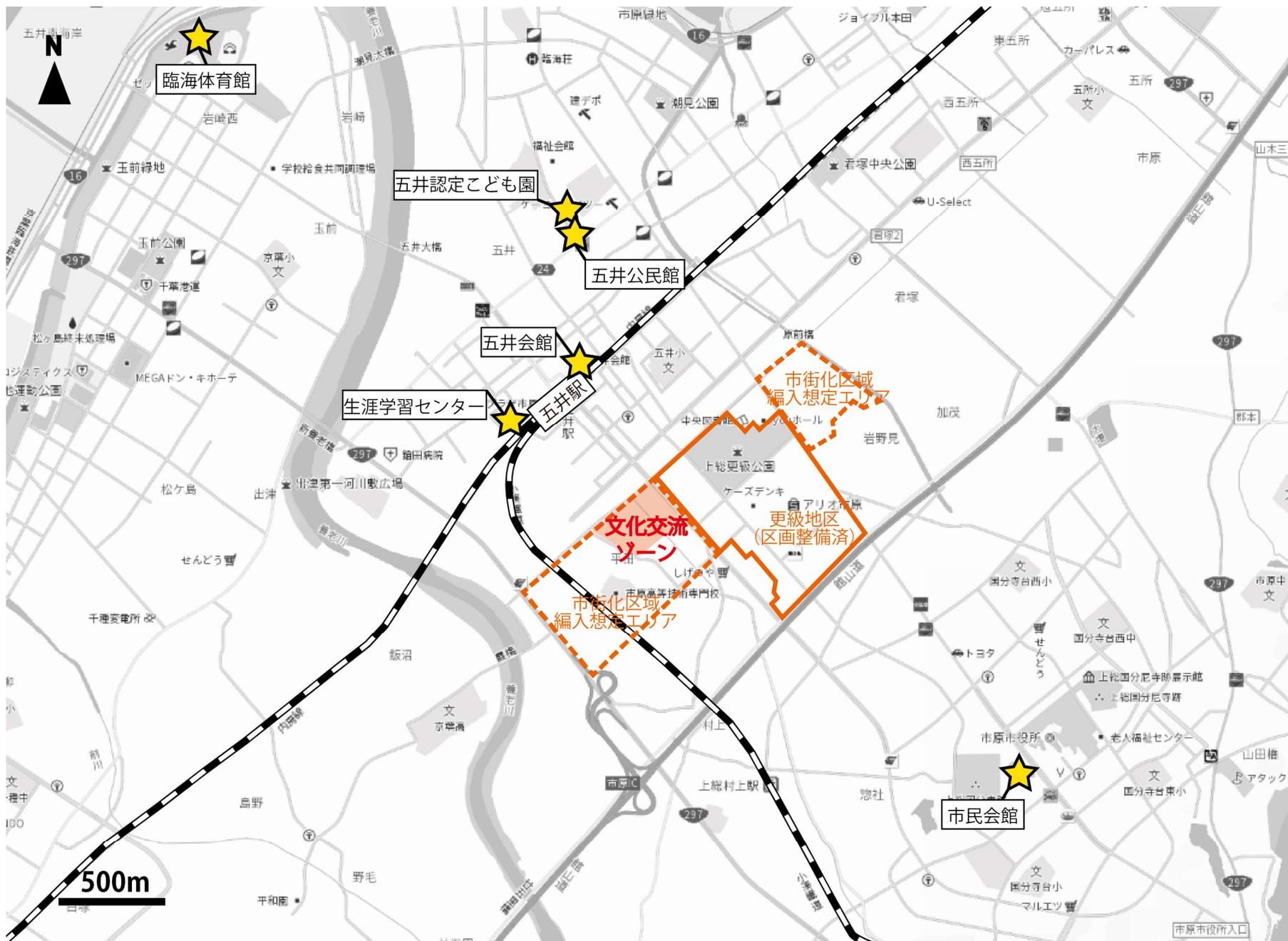
■ 文化交流施設へ機能集約する公共施設の方向性（案）

拠点まちづくりや施設の圏域等の特性に留意するとともに、市民等の意見を参考に、以下の公共施設について機能集約の方向性を検討・整理した。

施設名	圏域	竣工年	規模等	運営	諸室・備考等	集約の方向性
市民会館	広域	1974年	会議室棟： 3,463㎡ ホール棟： 8,339㎡	指定 管理	大ホール、小ホール、会議 室、茶室、和室、宴会室等	○ 集約する (移転)
臨海体育館	広域	1968年	2,749㎡	指定 管理	アリーナ、ステージ、会議 室、映写室等	× 集約しない
五井公民館	地域	1978年	3,433㎡	指定 管理	体育室、会議室、研修室、 視聴覚室、茶室、和室、実 習室、調理室、図書室等	× 集約しない
生涯学習 センター	広域	1995年 ※2013年 開館	206.68㎡ ※サンプラ ザ市原内	直営	学習室、冊子情報コーナー、 インターネットスペース、 ミーティングスペース等	△集約の方向 で検討
五井認定 こども園	地域	1974年	1,122㎡	直営	保育室等 ※暫定的に2020年5月よ り旧若葉保育所に移転	× 集約しない
五井会館	広域	1981年	3,053㎡ ※大ホール は645㎡	直営	大ホール等	△集約の方向 で検討

V 文化交流施設への機能集約

【集約検討公共施設の位置図】



V 文化交流施設への機能集約

■ 市民会館についての集約の考え方

- 「公共施設再配置基本方針」から一部要約
市民会館は、市の文化振興における文化芸術活動の中心施設として、適切な維持管理と機能向上に取り組み、更新等の時期に合わせて客席数の適正化や、機能集約等の可能性を検討する。
- 「市原市市民会館個別施設計画」から抜粋
建替え、新設にあたっては、将来需要を見据えた適正な規模、適正な形態をまちづくりの観点も踏まえ、現在の敷地に限定することなく広く検討する。
- 拠点別整備基本計画（五井編）において、文化交流ゾーンに市民会館の老朽化状況も踏まえながら、音楽・芸術の交流拠点機能を整備するものとしている。
- 「文化交流施設の整備に係る取組方針（令和4年11月決定）」において、現市民会館の機能移転を念頭に、文化交流ゾーンの核となる施設整備を行うものとしている。



これらを踏まえ、**市民会館は集約（移転）する。**

V 文化交流施設への機能集約

■ 市民会館（ホール）機能に関する検討

①現状と課題

✓ さらなる稼働率の向上

令和4年度の市民会館の稼働率は、大ホールが約63%、小ホールが約73%となっており（P6参照）、千葉県内の1,500席を超える大規模ホールを持つ施設の平均稼働率は、大ホールが約80%、小ホールが約75%となっている（千葉県公立文化施設協議会による「令和4年度 利用率集計表」）。

→県内の同規模等施設の平均値よりも低い稼働状況であることから、さらなる稼働率の向上を目指すものである。 ※上記稼働率は、利用日数/利用可能日数により計算

✓ 大規模な催し・イベント・コンサートの誘致・開催

市民アンケート及び利用者アンケートでは、大規模な催し・イベント・コンサートへの期待が大きく、市民ワークショップでも、市民会館について「全国ツアーの始点になる」「大物アーティストが来る」といったことを評価する意見が複数挙げられた。

→大規模な催し・イベント・コンサートの誘致・開催について検討が必要である。

✓ 五井駅周辺の賑わいと魅力の向上

拠点まちづくりビジョンにおいて、五井駅周辺のまちづくりの方向性として「文化と教育を核に、多様な人が集う中心拠点」としている。また、同ビジョンの具現化に向け、拠点別整備基本計画（五井編）において、文化交流ゾーンは「音楽・芸術の交流拠点機能の整備」を検討するものとしている。

→五井駅周辺の賑わいと魅力の向上に向けた施設整備が必要である。

②文化芸術・エンターテインメント市場の動向

✓ 近年の文化ホールは、平成24年度に施行された「劇場、音楽堂等の活性化に関する法律」において、文化芸術の継承、創造、発信の場だけでなく、**地域コミュニティの創造や発展を支える機能**が望まれている。

✓ 社会動向としては、Bリーグ（2016年）の発足など、スポーツの産業化の兆しが表れ、「ECSA（エクサ）」の創設など、**スポーツとエンターテインメントの両輪で新たな楽しみを創出し、利便性高く、経営的に成立しうるスタジアム・アリーナ整備を推進**する潮流がある。

V 文化交流施設への機能集約

③周辺のホール及びアリーナの整備状況

- ✓ 市原市隣接地域には、中規模ホールが多く、1,500席を超える大規模なホールは市原市市民会館（1,527席）と千葉県文化会館（1,790席）のみである。千葉県全域をみても、大規模ホールは、市川市文化会館（1,758席）、松戸市文化会館森のホール21（1,955席）のみとなっている。
- ✓ スポーツにもコンサート等にも利用できるアリーナは、近隣では千葉ポートアリーナ（固定席4,380席 最大7,512名収容）がある他、幕張メッセイベントホール（最大9,000人収容）もコンサート等に多く利用されている。
- ✓ 民間施設としては、船橋市において、Bリーグチームのホームアリーナとして利用が決定している（仮称）LaLa arena TOKYO-BAY（1万人規模）が2024年に開業予定である。



市民会館（ホール）機能へのアリーナ機能の導入可能性の検討

- ✓ 市民会館（ホール）機能を文化交流施設に集約するにあたっては、さらなる稼働率の向上、五井駅周辺の賑わいと魅力の向上に向け、より集客性が高い大規模エンターテインメント等にも対応することを想定し、アリーナ機能の導入可能性についても検討した。
- ✓ アリーナ機能の導入可能性については、立地や周辺地域におけるホール及びアリーナの整備状況、コスト、現市民会館機能の維持、民間事業者意向調査の結果等を十分に踏まえ検討した。

V 文化交流施設への機能集約

文化交流施設における市民会館機能の整備パターンは以下の①～③が想定される。

【市民会館機能の整備パターン】 1/2

	①アリーナ機能をホール機能と別に備える場合	②アリーナ機能をホール機能と兼ねる場合	③アリーナ機能を備えない場合
概要	大・小ホールに加え、アリーナを整備	アリーナ兼ホールと小ホールを整備	アリーナは整備せず、大・小ホールを整備 ※現市民会館と同様
コスト	<p>大</p> <ul style="list-style-type: none"> 建築費及び用地費が増大 	<ul style="list-style-type: none"> 建築費が増大 	<p>小</p>
現市民会館機能の維持	<p>【○】</p> <ul style="list-style-type: none"> アリーナは、音響性能が吹奏楽やクラシックコンサート等に適さない。 大ホールを整備することから、現市民会館機能（クラシックコンサート等）を維持できる。 	<p>【×】</p> <ul style="list-style-type: none"> アリーナは、音響性能が吹奏楽やクラシックコンサート等に適さない。 大ホールを整備しないことから、現市民会館機能（クラシックコンサート等）は維持できない。 	<p>【○】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現市民会館機能（クラシックコンサート等）を維持できる。

V 文化交流施設への機能集約

【市民会館機能の整備パターン】 2/2

	①アリーナ機能をホール機能と別に備える場合	②アリーナ機能をホール機能と兼ねる場合	③アリーナ機能を備えない場合
概要	大・小ホールに加え、アリーナを整備	アリーナ兼ホールと小ホールを整備	アリーナは整備せず、大・小ホールを整備 ※現市民会館と同様
興行	【◎】 <ul style="list-style-type: none"> 施設としては、大規模エンターテインメントやプロスポーツの興行が可能。 	【◎】 <ul style="list-style-type: none"> 施設としては、大規模エンターテインメントやプロスポーツの興行が可能。 	【○】 <ul style="list-style-type: none"> 現市民会館と同様の興行が可能。
民間事業者意向調査の結果	【×：アリーナの需要が見込めない】 <ul style="list-style-type: none"> 既に都心近郊や近隣市にアリーナが複数あり、立地上、市原市が大規模エンターテインメントの会場として選択される可能性は低い。 市原市においては、大規模アリーナではなく、小規模（3,000人）～中規模（5,000人）アリーナが想定されるが、市を拠点とする室内プロスポーツチームが存在しないため、安定した収益を確保できない。 アリーナ機能の導入については、立地や想定される利用内容では事業採算性が見込めないとの回答が多かった。 		—

V 文化交流施設への機能集約

【市民会館機能の整備パターン】まとめ

	①アリーナ機能をホール機能と別に備える場合	②アリーナ機能をホール機能と兼ねる場合	③アリーナ機能を備えない場合
概要	大・小ホールに加え、アリーナを整備	アリーナ兼ホールと小ホールを整備	アリーナは整備せず、大・小ホールを整備 ※現市民会館と同様
コスト	×	△	○
現市民会館機能の維持	○	× 吹奏楽やクラシック不可	○
興行	◎	◎	○
民間事業者意向調査の結果	× アリーナの需要が見込めない		—



文化交流施設にアリーナ機能は導入しない。

※なお、ホールやその他諸室等の規模等については、今後検討する。

V 文化交流施設への機能集約

■ 臨海体育館についての集約の考え方

- 臨海体育館は、スポーツ施設が集約されている市原緑地運動公園内に設置されており、主にバスケットボール、バレーボール、バトミントン等の室内競技に利用されている。
- 拠点別整備基本計画（五井編）の他、市の上位計画において、文化交流ゾーンやその周辺に「スポーツ施設」の立地を誘導する位置づけはない。
- 文化交流施設に、コンサートやスポーツ等にも利用できる「アリーナ機能」は導入しないものと整理した。（P23参照）
- 仮に文化交流ゾーンに集約した場合、ホールと体育館でのイベント等が重なった際に混雑が生じ、周辺の住環境や道路環境等へ悪影響を与える可能性がある。



これらを踏まえ、**臨海体育館は集約しない。**

※なお、臨海体育館については、老朽化が著しいことや、スポーツ団体から公式試合等に対応できる体育館の整備に関する要望があることなどを踏まえ、今後、施設のあり方等を検討する必要がある。

V 文化交流施設への機能集約

■ 五井公民館についての集約の考え方

- 五井公民館は、地域での利用を主体とする施設であり、利用者アンケート調査でも、五井地区を活動エリアとする利用団体が約98%を占めている。
- 利用者アンケート調査では、五井駅西口周辺の市民活動拠点として継続を強く希望する等の意見が複数あった。
- 市民会館機能と類似する機能として会議室等があるが、全市的な利用を主体とする市民会館機能と集約・複合化した場合、現五井公民館利用者等が会議室等を利用しにくくなる可能性がある。
- 市民アンケート調査では、五井地区に居住している市民のうち、五井公民館を「文化交流ゾーンに移転したい」と回答した割合は約15%と比較的少数だった。
- 五井公民館を文化交流施設に集約した場合、五井駅西口側の公共施設が減少し、駅東西間での公共施設の配置バランスに偏りが生じる。



これらを踏まえ、**五井公民館は集約しない。**

V 文化交流施設への機能集約

■ 生涯学習センターについての集約の考え方

- 生涯学習センターは、市の生涯学習推進の中核的施設として設置されており、主な事業として、いちほら市民大学を実施している。
- いちほら市民大学受講者を対象とした利用者アンケート調査では、利用者の年齢は60歳代～70歳代が約7割であり、居住地は市全域に分布している。主な交通手段は、自家用車が約50%、公共交通機関が約33%であった。
- 施設に対し最も満足している点としては、「立地がよい」が約50%であり、五井駅直結の立地を評価していることが見受けられる一方、満足していない点としては、「駐車場の台数が不十分」が約43%であった。
- 文化交流施設の運営面で重視することとしては、「市民が生涯学習を楽しめる場や機会の充実」が約43%であり、生涯学習センター利用者が文化交流施設において、生涯学習の場や機会の充実を期待していることが見受けられた。



これらを踏まえ、**生涯学習センターは集約の方向で検討する。**

V 文化交流施設への機能集約

■ 五井認定こども園についての集約の考え方

- 以前は五井駅東口に立地していたが、施設の老朽化対策のため、暫定的に旧若葉保育所園舎を使用している。
- 施設管理者からは、「園児の飛出防止や不審者の侵入防止のため、施設外周を柵やフェンス等で囲む必要がある」、「防犯上、不特定多数の人が出入りする施設との合築ではなく、単独敷地が望ましい」等の意見があった。
また、類似事例として、八幡宿駅西口複合施設においても、園児の安全、防犯面等の課題から、八幡認定こども園は単独での建て替えとしている。
- 仮に文化交流ゾーンに集約する場合、朝夕の送迎時に混雑が見込まれることから、文化交流施設等と動線を分ける必要がある。



これらを踏まえ、**五井認定こども園は集約しない。**

※なお、移転先や施設規模等については、今後検討する必要がある。

V 文化交流施設への機能集約

■ 五井会館についての集約の考え方

- 五井会館は、老朽化が著しく、現在は3階の事務室及び4階の大ホール以外は低未利用の状況である。
- 大ホールは、広さ645㎡の多目的ホールであり、部屋の広さを活かした大人数での会議など様々な用途に利用されている。
- 老朽化に伴う施設・設備の不具合や駐車場不足により、利用に支障をきたしている。
- 大ホールは、現市民会館の会議室機能と類似しており集約化の効果が期待される。



これらを踏まえ、**五井会館の大ホール機能は集約の方向で検討する。**

※五井会館は、老朽化が著しいことや好立地であることから、今後、施設のあり方等を検討する必要がある。

VI 今後のスケジュール

■ 今後の主なスケジュールは以下を想定する。

	令和5年度			令和6年度			令和7年度				
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3
基本構想策定						★ 骨子案パブコメ実施 (9月) ★ 素案作成 (11月)					★ 基本構想策定 (3月)
基本計画策定										★ 骨子案パブコメ実施 (9月) ★ 素案作成 (11月)	★ 基本計画策定 (3月)
民間活力等導入可能性調査											民間事業者ヒアリング等
市民ワークショップ											★ シンポジウム (10月頃)
文化交流施設検討委員会 等											※ニュースレター等により随時情報発信



**(参考資料) 基本調査、市民ワークショップ
シヨツプ及び先進事例について**

1) 市民アンケート調査 (抜粋)

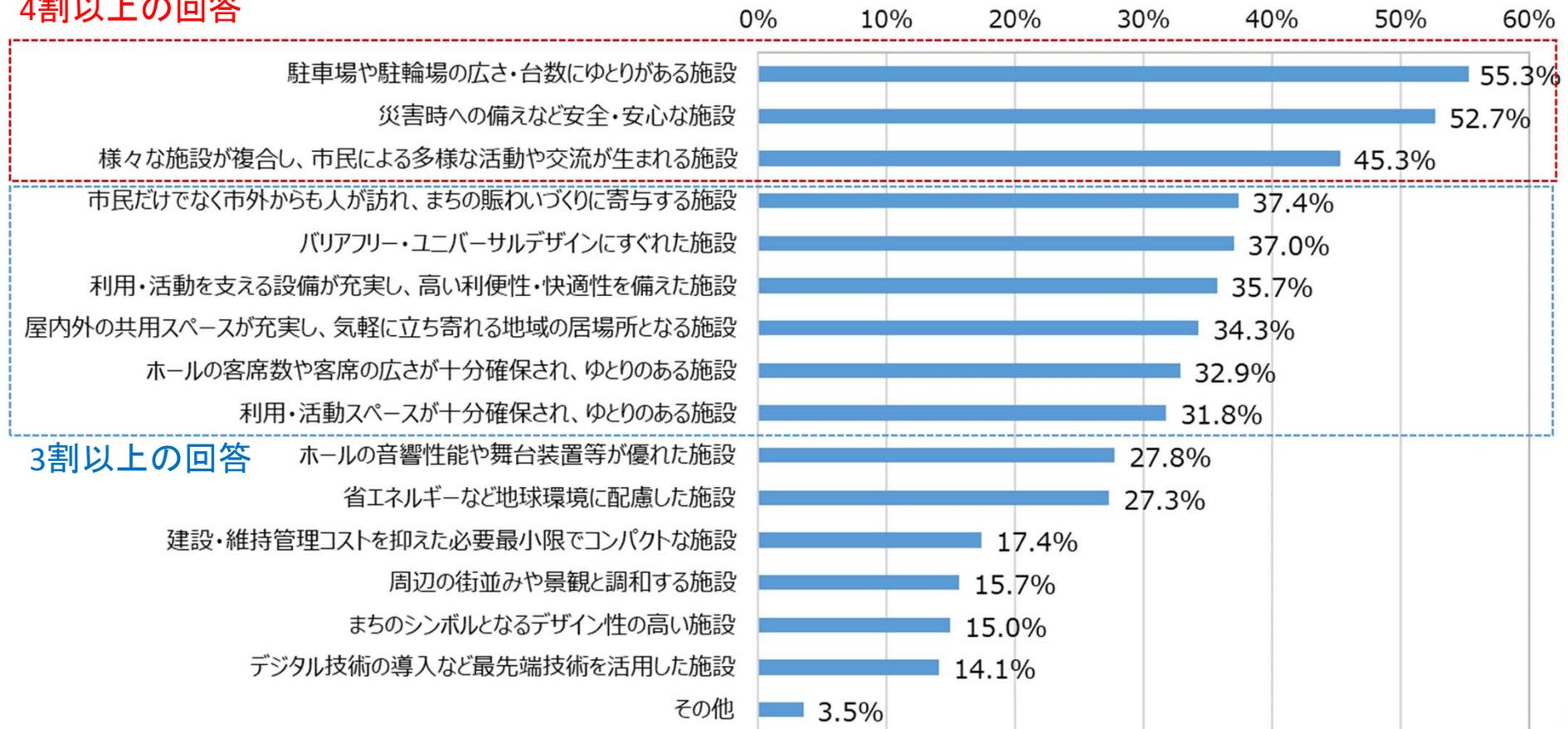
■ 市民アンケート調査結果 (暫定値)

資料P7参照

① 文化交流施設の整備の方向性

- ✓ 「駐車場等のゆとり」が最も多く、次いで、「安全・安心な施設」「多様な活動・交流」についての回答が多い (約5割)

4割以上の回答



(n=907)

※複数選択可

1) 市民アンケート調査 (抜粋)

■ 市民アンケート調査結果 (暫定値)

資料P7参照

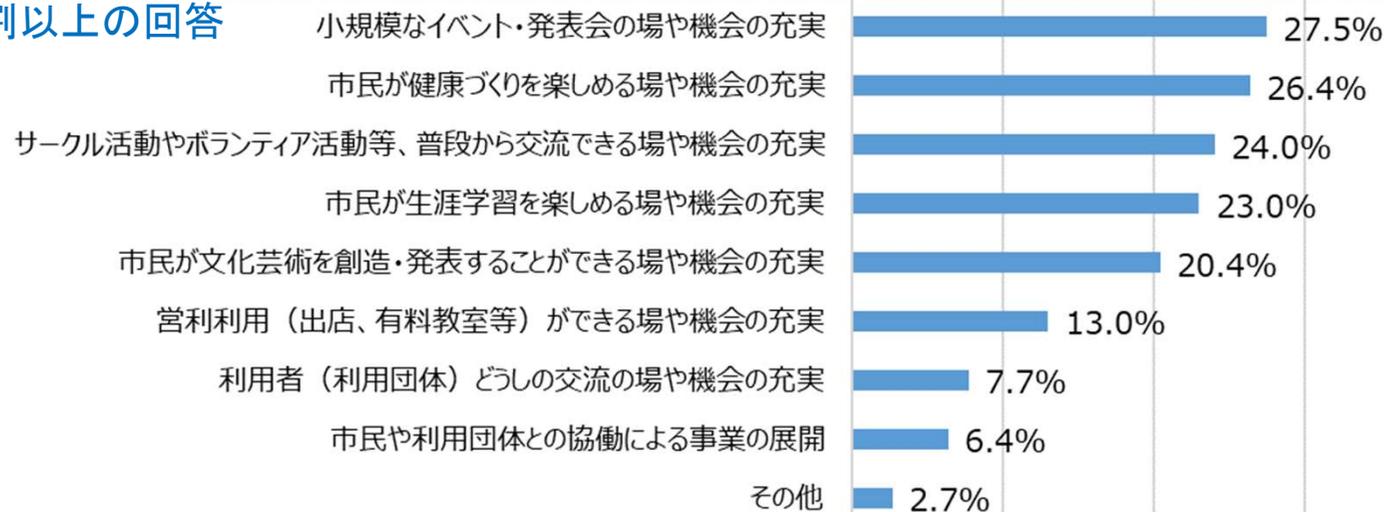
②文化交流施設に期待する取組・サービスや充実してほしい場や機会

✓ 「大規模なイベント等の誘致・開催」を望む回答が多い (約5割)

5割以上の回答



3割以上の回答



(n=891)

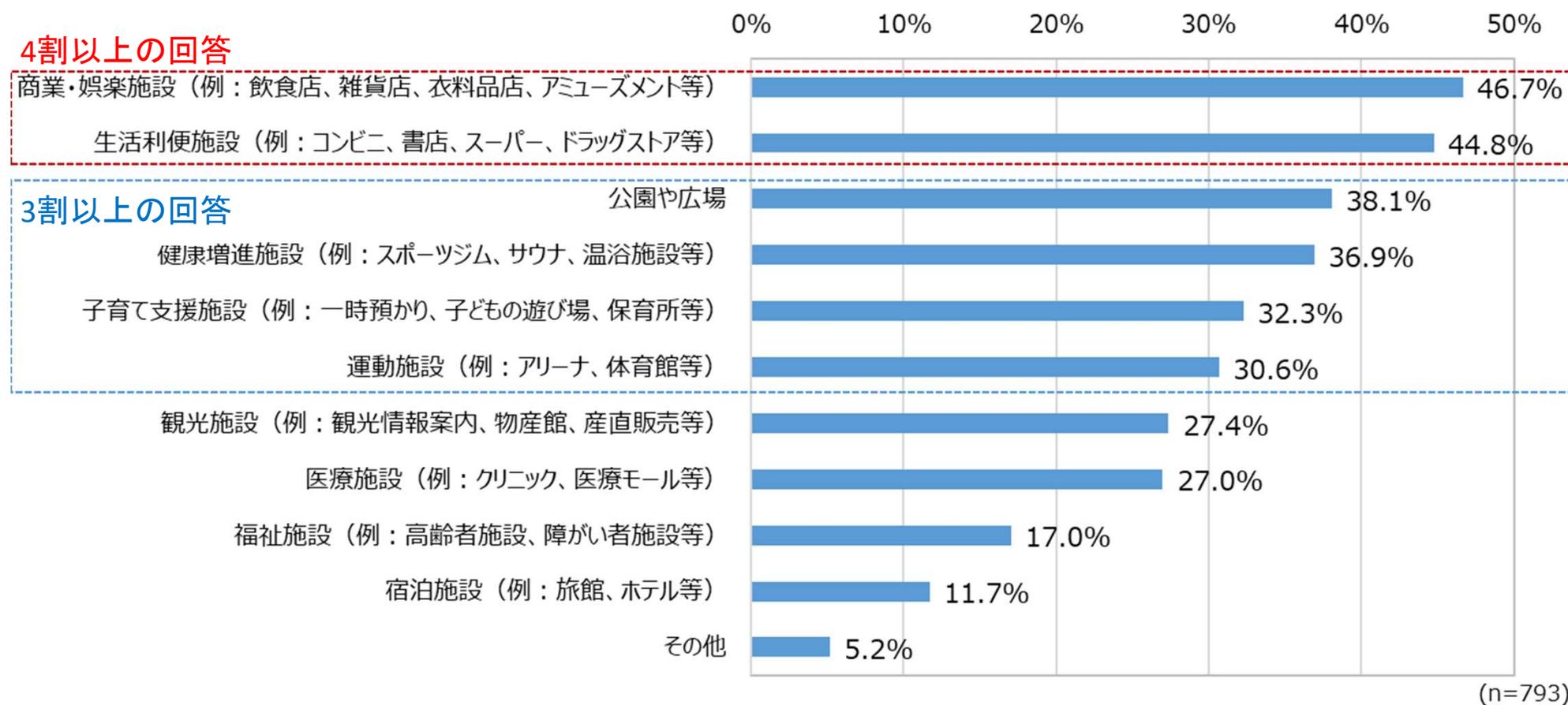
※複数選択可

1) 市民アンケート調査 (抜粋)

■ 市民アンケート調査結果 (暫定値)

③文化交流ゾーン (文化交流施設) にあるとよい施設

- ✓ 「商業・娯楽施設」「生活利便施設」が4割以上、次いで、「公園や広場」「健康増進施設」「子育て支援施設」「運動施設」が3割以上。



※複数選択可

1) 市民アンケート調査 (抜粋)

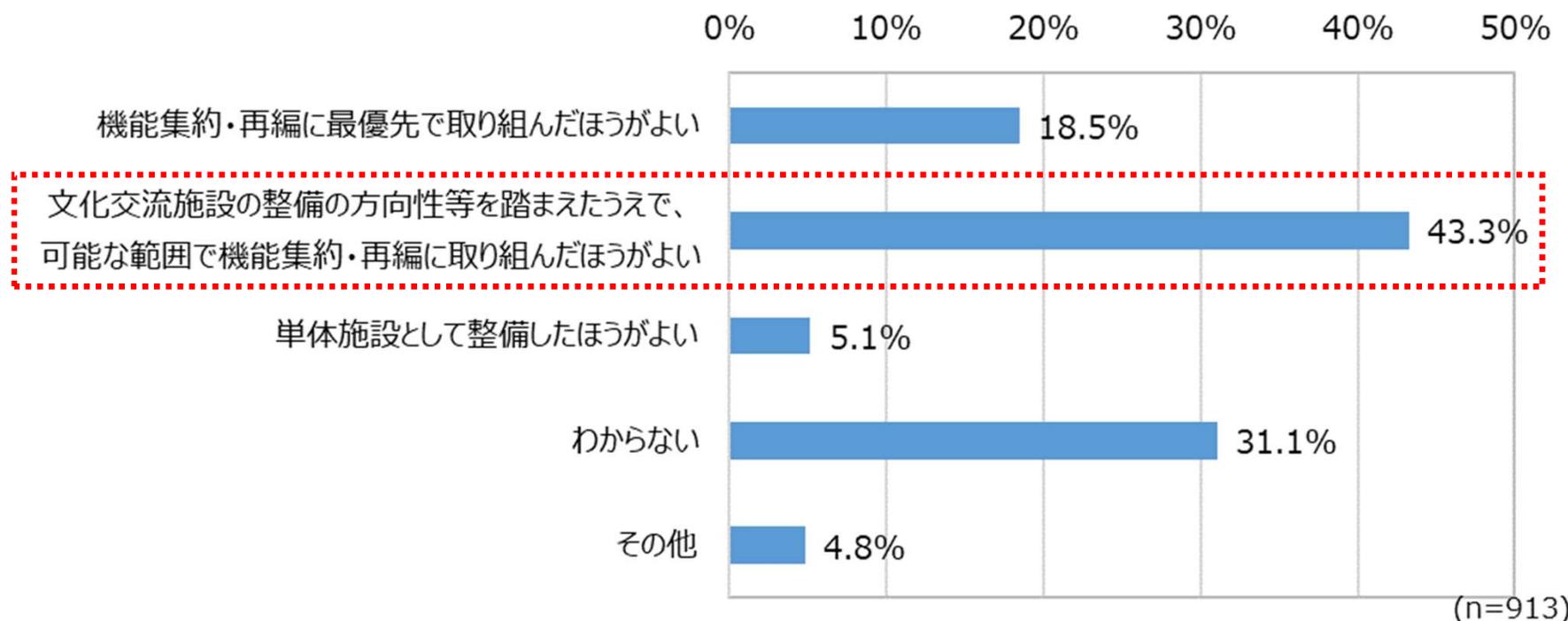
■ 市民アンケート調査結果 (暫定値)

資料P7参照

④機能集約・再編による効率的・効果的な事業推進について

- ✓ 可能な範囲で機能集約・再編に取り組んだほうがよいとする回答が4割以上。

取組方針についての考え



機能集約・再編：

文化交流施設単体の整備のみならず、五井駅周辺の公共施設の複合化・集約化を検討することにより、施設利用者の利便性の向上や、全体の費用の縮減を目指そうとするもの。

1) 市民アンケート調査 (抜粋)

■ 市民アンケート調査結果 (暫定値)

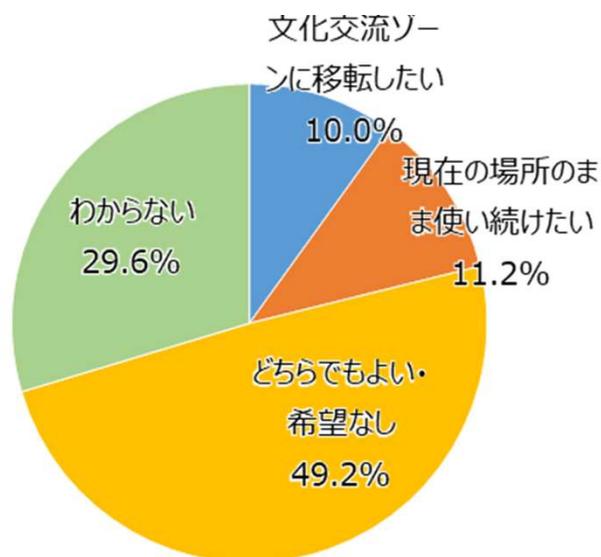
⑤ 文化交流ゾーンへの移転の意向

- ✓ 市民会館では、「文化交流ゾーンに移転したい」と「現在の場所のまま使い続けたい」がそれぞれ2割強、約3割はどちらでもよいとの回答。
- ✓ 五井公民館では「文化交流ゾーンに移転したい」と「現在の場所のまま使い続けたい」がそれぞれ1割程度、約5割はどちらでもよいとの回答。
- ✓ 生涯学習センターでは、「文化交流ゾーンに移転したい」が「現在の場所のまま使い続けたい」をやや上回っている。約4割はどちらでもよいとの回答。

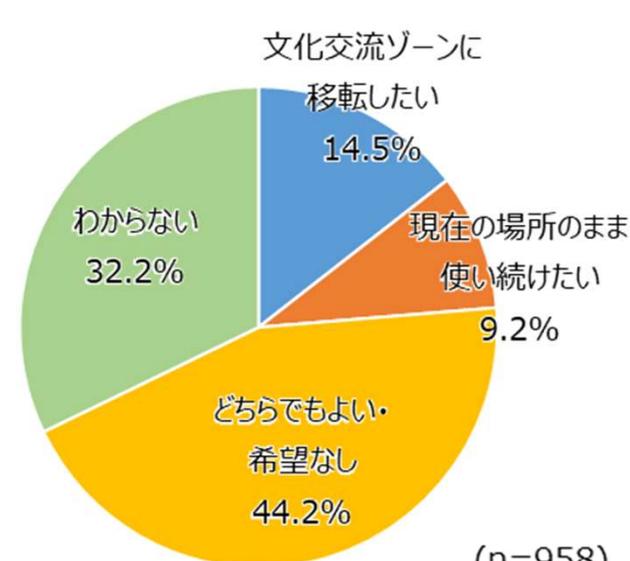
市民会館の移転



五井公民館の移転



生涯学習センターの移転



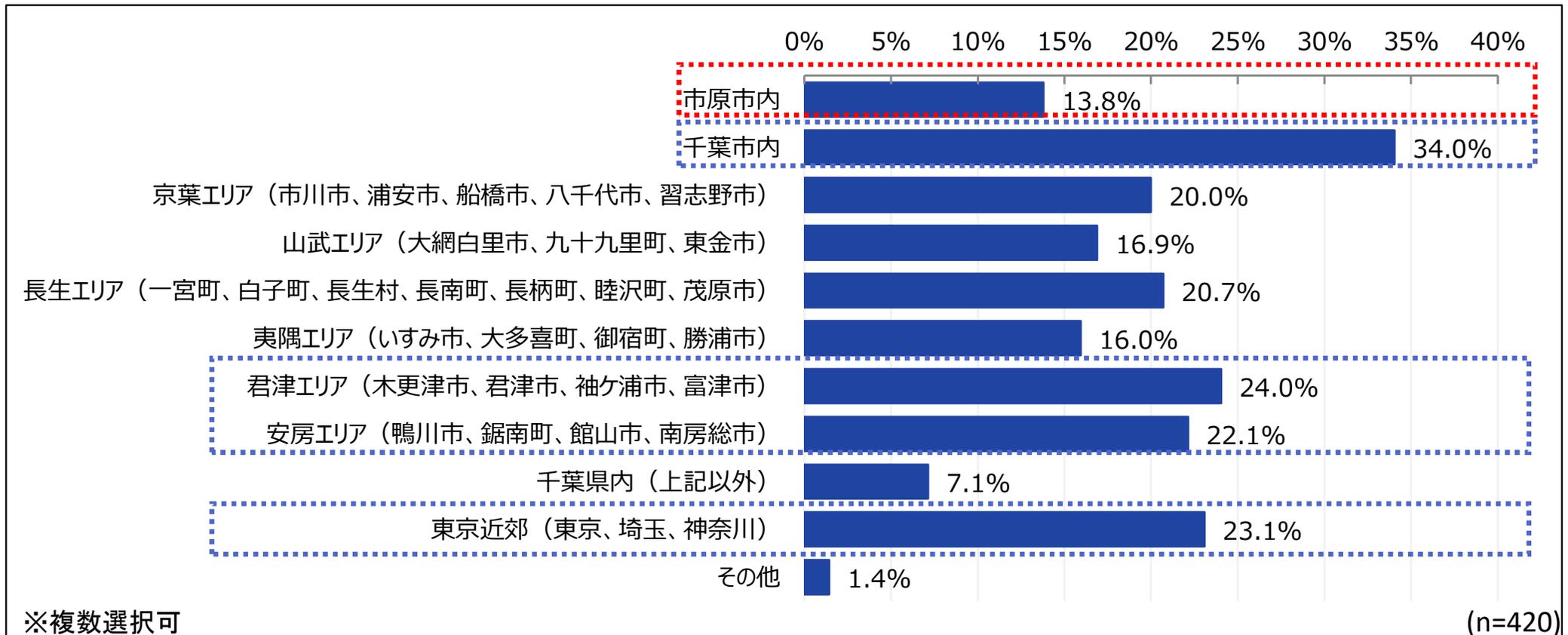
(n=958)

2) 市外居住者向け (Web) アンケート (抜粋)

■ 市外居住者向け (Web) アンケート調査結果 (暫定値)

① 休日や余暇時間等によく行く場所

- ✓ 「市原市内」との回答は13.8%。
- ✓ 「千葉市内」の回答が最も多く (約3割)、次いで「君津エリア」「安房エリア」「東京近郊」が多い (約2割)。



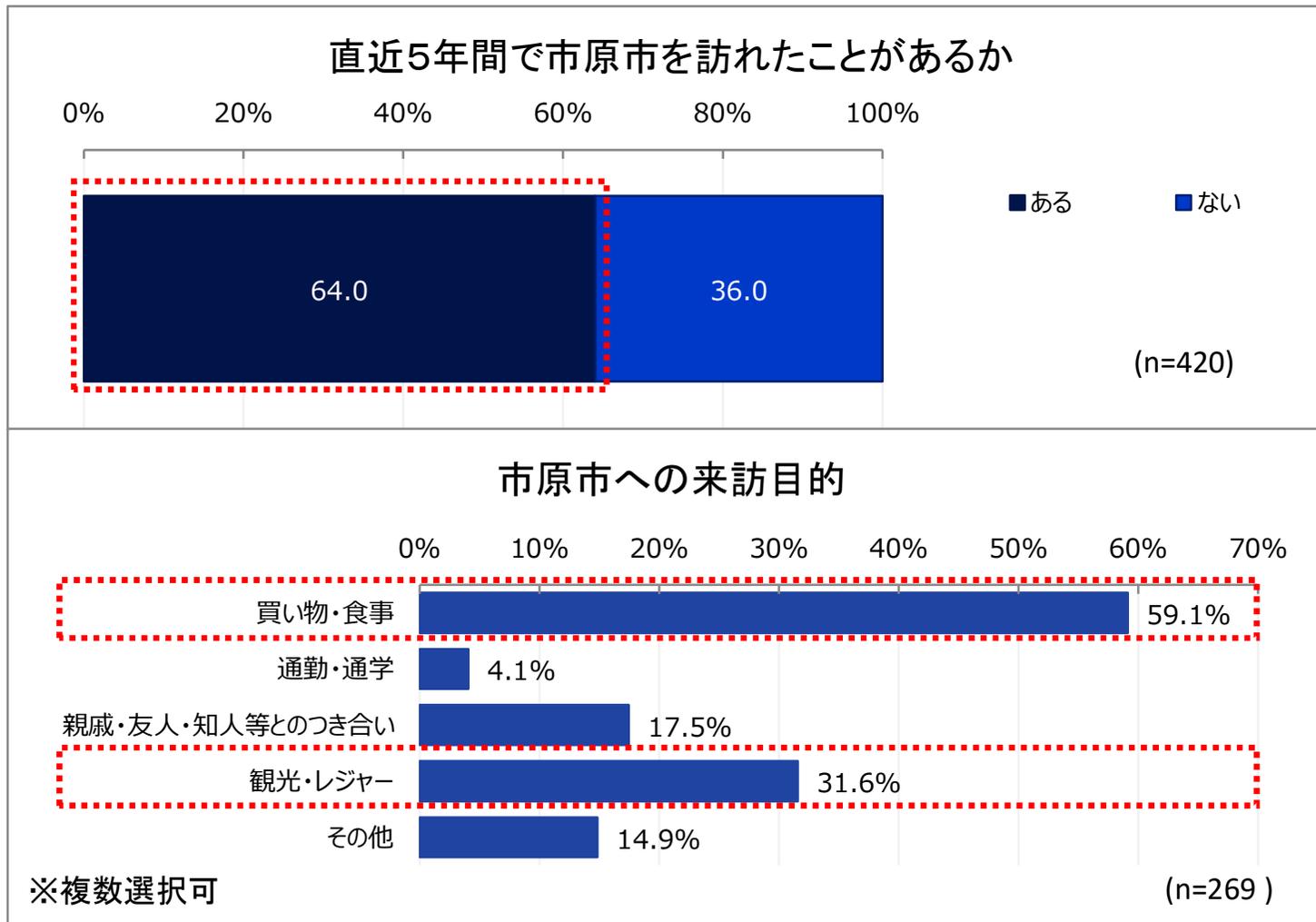
2) 市外居住者向け (Web) アンケート (抜粋)

■ 市外居住者向け (Web) アンケート調査結果 (暫定値)

資料P8参照

②市原市への来訪経験・目的

- ✓ 直近5年間の市原市への来訪経験ありは約6割で、その来訪目的は「買い物・食事」(約6割)や「観光・レジャー」(約3割)が多い。



2) 市外居住者向け (Web) アンケート (抜粋)

■ 市外居住者向け (Web) アンケート調査結果 (暫定値)

資料P8参照

③文化ホールや劇場の利用経験

- ✓ 直近10年間 (2013年以降) で、文化ホールや劇場での「鑑賞 (観る・聴く)」の経験は、「ある」が37.6%、「ない」が62.4%であった。
- ✓ 「ある」の回答のうち、利用した施設としては、千葉県文化会館が約25%と最も多く、市原市市民会館は約11%であった。

NO	施設名	%
1	千葉県文化会館	25.3
2	その他県内外の文化ホール	20.3
3	東金文化会館	15.8
4	千葉市民会館	14.6
5	市川市文化会館	13.3
6	茂原市民会館	13.3
7	市原市市民会館	11.4
8	君津市民文化ホール	11.4
9	習志野市習志野文化ホール	10.1
10	千葉県南総文化ホール	10.1
11	船橋市民文化ホール	8.2
12	かずさアカデミアパーク (かずさアカデミアホール)	8.2

NO	施設名	%
13	いすみ市岬ふれあい会館	7.0
14	勝浦市芸術文化交流センター (Kuste(キユステ))	5.1
15	木更津市民会館	5.1
16	八千代市市民会館	3.8
17	袖ヶ浦市民会館	3.8
18	市川市行徳公会堂 (行徳文化ホールI & I (あいあい))	1.9
19	浦安市文化会館	1.9
20	富津市民会館	1.3
21	鴨川市市民会館	1.3
22	南房総市白浜フローラルホール	1.3
23	富津市富津公民館	0.0

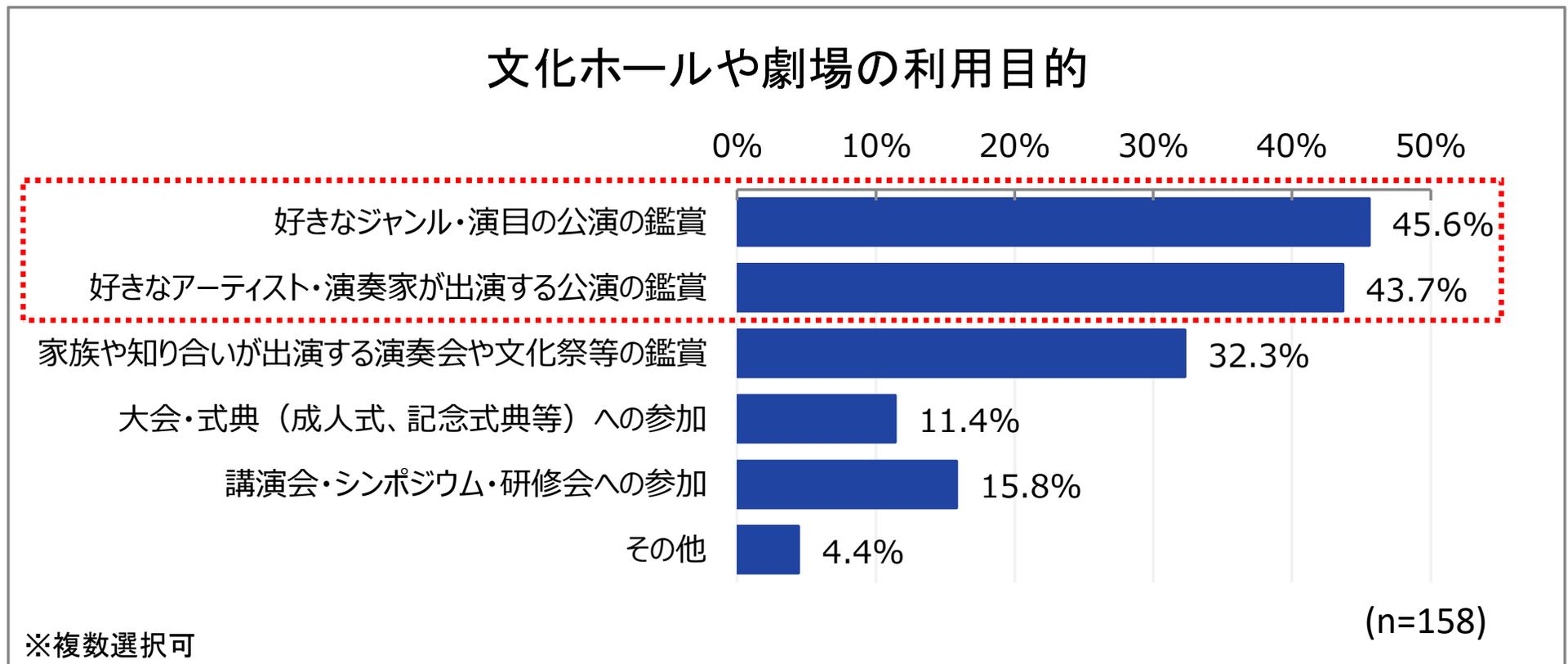
※複数選択可

2) 市外居住者向け (Web) アンケート (抜粋)

■ 市外居住者向け (Web) アンケート調査結果 (暫定値)

④文化ホールや劇場の利用目的

- ✓ 直近10年間 (2013年以降) で、文化ホールや劇場での「鑑賞 (観る・聴く)」の目的としては、「好きなジャンル・演目の公演の鑑賞」「好きなアーティスト・演奏家が出演する公演の鑑賞」が4割以上。



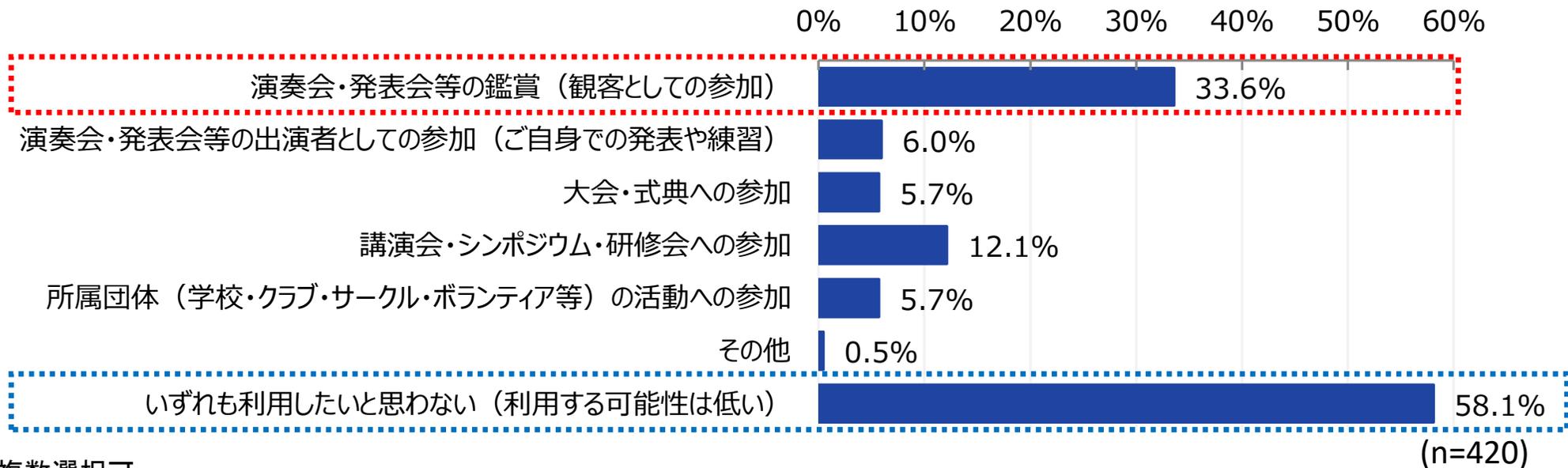
2) 市外居住者向け (Web) アンケート (抜粋)

■ 市外居住者向け (Web) アンケート調査結果 (暫定値)

⑤ 文化交流施設 (ホール) で、機会があれば利用したいと思う内容

- ✓ 「演奏会・発表会等の鑑賞」の回答が最も多く約3割である一方、「いずれも利用したいと思わない (利用する可能性は低い)」が約6割となっている。

新たに整備予定のホールで、機会があれば利用したい内容



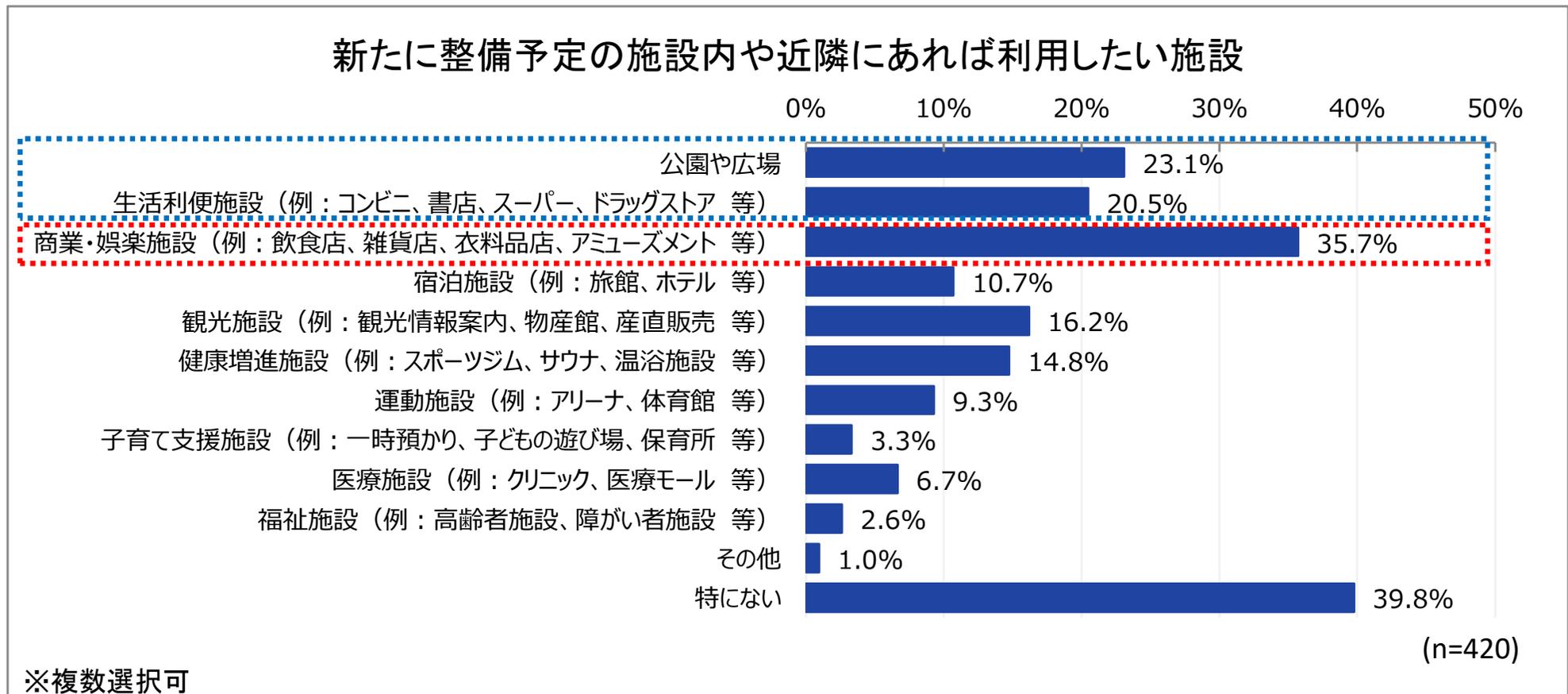
※複数選択可

2) 市外居住者向け (Web) アンケート (抜粋)

■ 市外居住者向け (Web) アンケート調査結果 (暫定値)

⑥ ホール以外に文化交流施設の敷地内や近隣にあれば利用したい施設

✓ 「商業・娯楽施設」が最も多く約4割、次いで「公園や広場」「生活利便施設」が約2割。



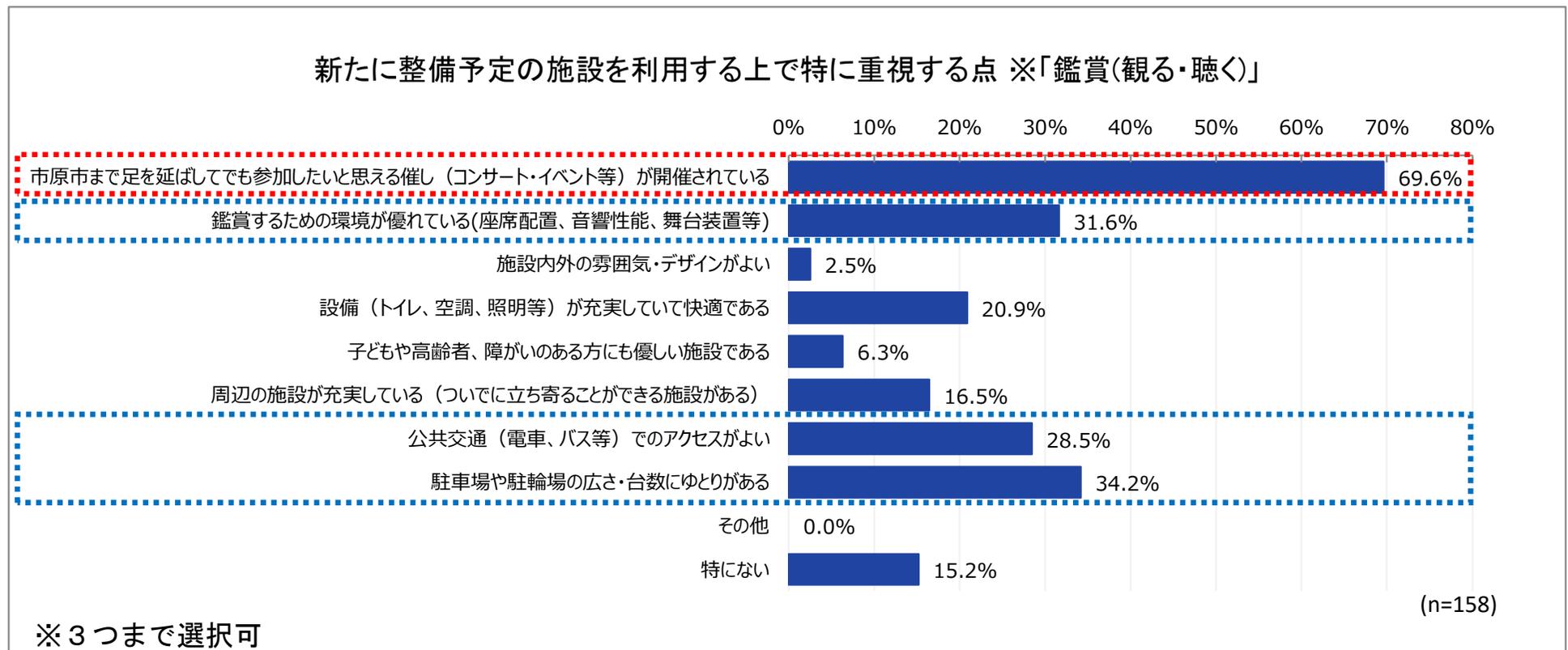
2) 市外居住者向け (Web) アンケート (抜粋)

■ 市外居住者向け (Web) アンケート調査結果 (暫定値)

資料P8参照

⑦ 文化交流施設を利用する上で特に重視する点 ※鑑賞(観る・聴く) 場合

- ✓ 「市原市まで足を延ばしてでも参加したいと思える催し」の回答が特に多い(約7割)。
- ✓ 「駐車場や駐輪場の広さ・台数にゆとりがある」「公共交通でのアクセスがよい」「鑑賞するための環境が優れている」の回答も比較的多い(約3割)。



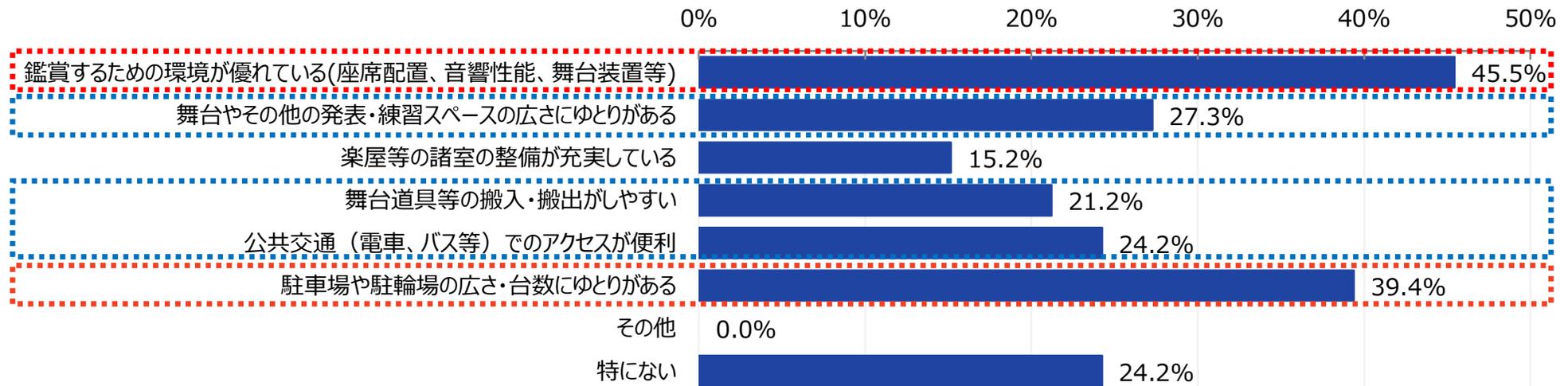
2) 市外居住者向け (Web) アンケート (抜粋)

■ 市外居住者向け (Web) アンケート調査結果 (暫定値)

⑧ 文化交流施設を利用する上で特に重視する点 ※自身での活動 (発表や練習) の場合

- ✓ 「鑑賞するための環境が優れている(座席配置、音響性能、舞台装置等)」が約5割、「駐車場や駐輪場の広さ・台数にゆとりがある」が約4割と多い。
- ✓ 次いで、「舞台やその他の発表・練習スペースの広さにゆとりがある」「公共交通でのアクセスがよい」「舞台道具等の搬入・搬出がしやすい」が2割以上。

新たに整備予定の施設を利用する上で特に重視する点 ※「自身での活動(発表や練習)」



※ 3 つまで選択可

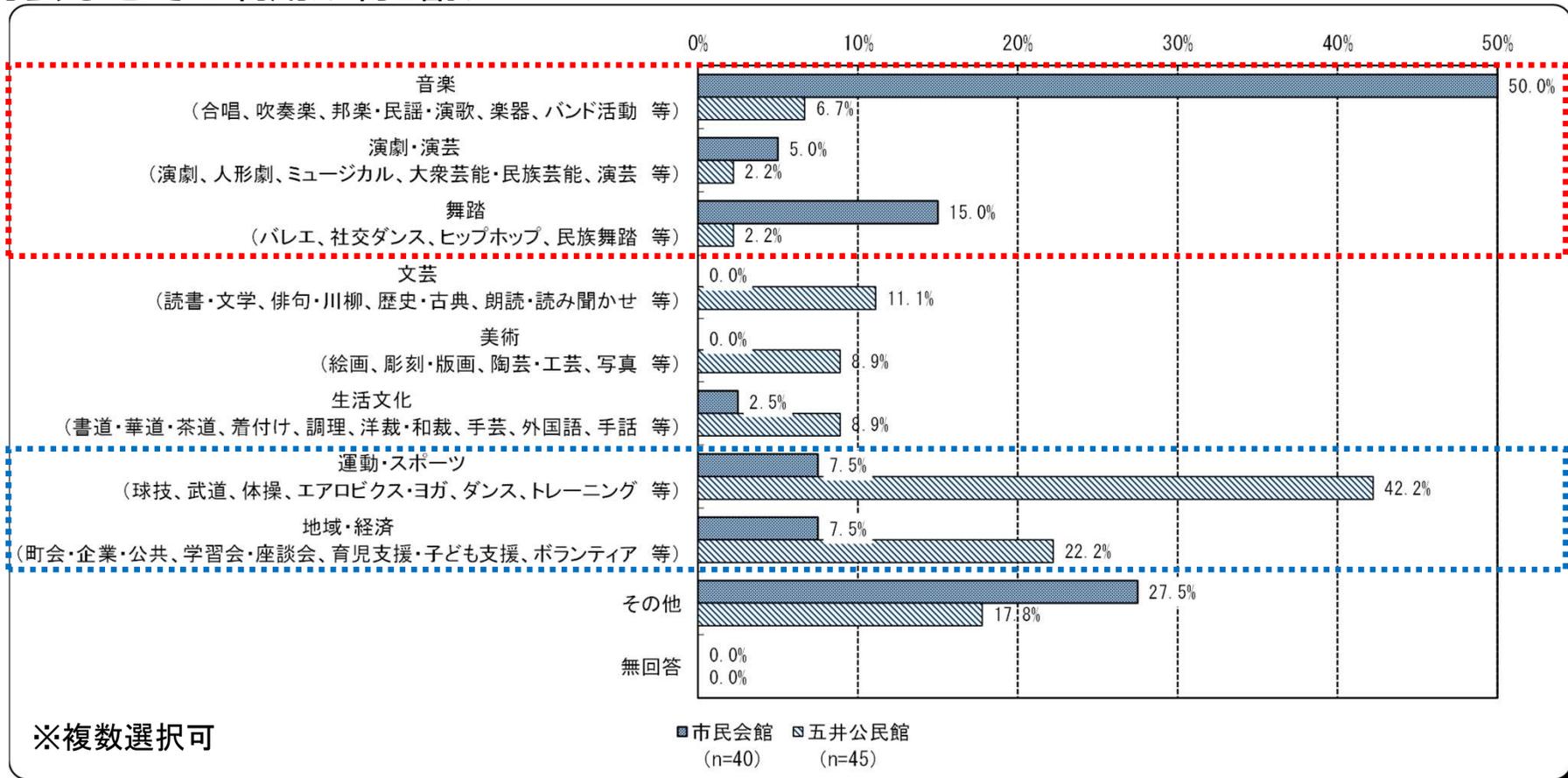
(n=33)

3) 利用者アンケート (抜粋)

■ 利用者アンケート調査結果 (暫定値)

① 【市民会館・五井公民館】 利用団体の活動内容 (分野)

- ✓ 市民会館利用団体では、「音楽」が最も多く5割。「音楽」「演劇・演芸」「舞踏」のホールを利用する活動を合わせると7割。
- ✓ 五井公民館利用団体では、運動・スポーツの団体が最も多く約4割、次いで地域・経済の町会などでの利用が約2割。



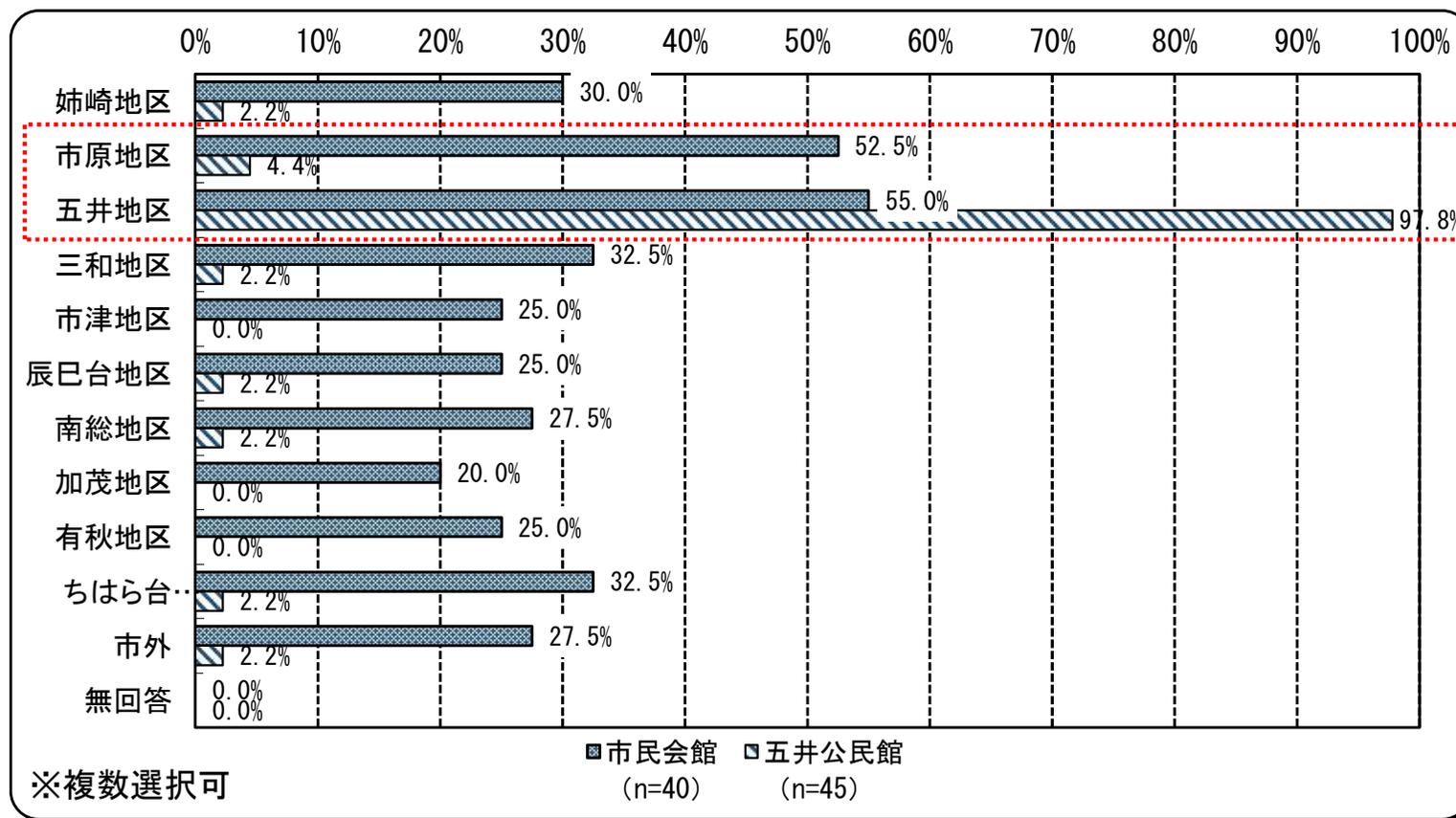
3) 利用者アンケート (抜粋)

■ 利用者アンケート調査結果 (暫定値)

資料P25参照

② 【市民会館・五井公民館】 利用団体の日常的な活動エリア (地区)

- ✓ 市民会館利用団体では、五井地区が最も多く、次いで市原地区が多い (約5割)。その他の地区や市外についても2~3割程度の回答があり、市全域や市外で活動している団体が市民会館を利用している。
- ✓ 五井公民館利用団体では、五井地区が9割以上とほとんどが五井地区で活動している団体であった。

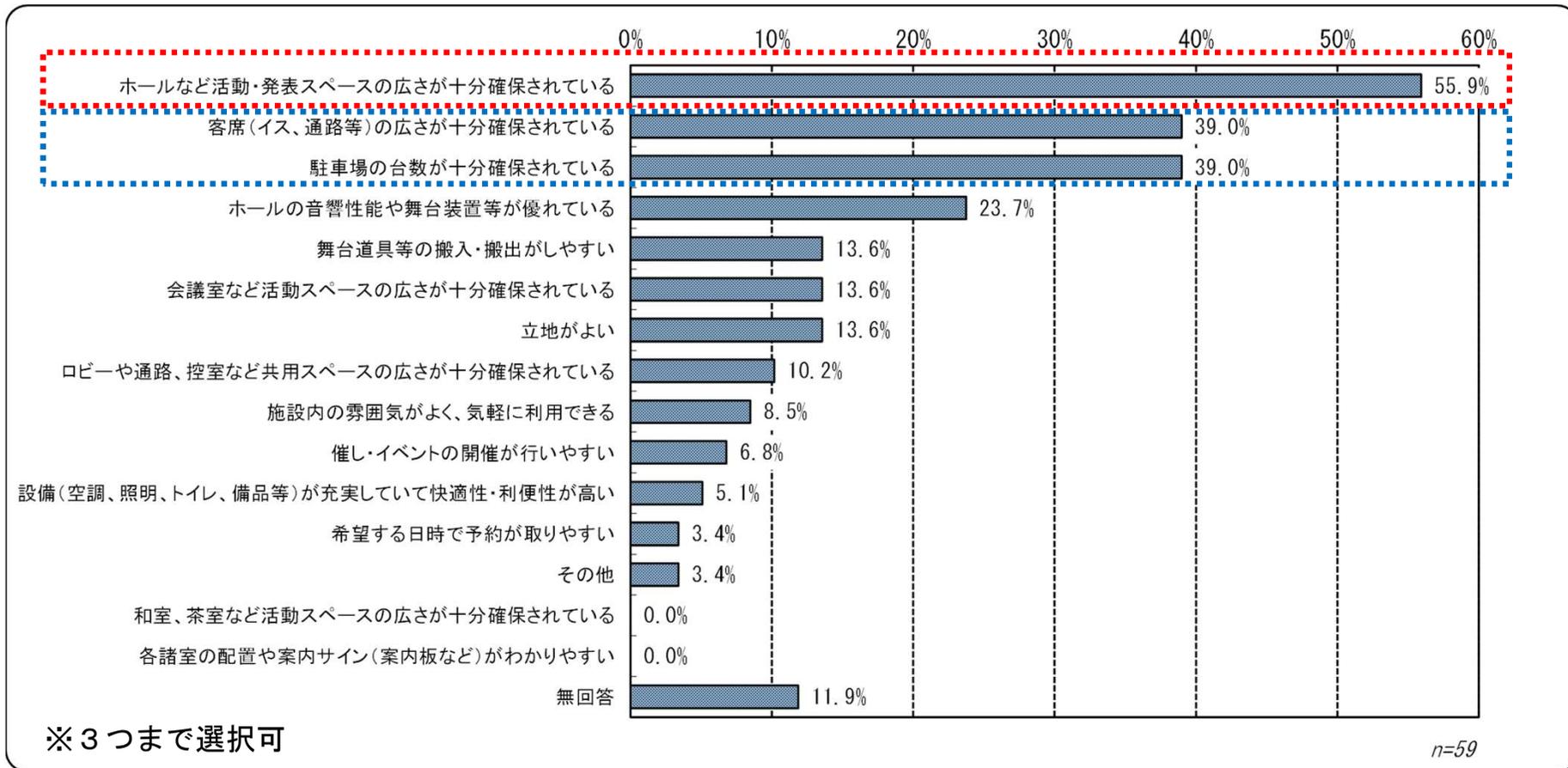


3) 利用者アンケート (抜粋)

■ 利用者アンケート調査結果 (暫定値)

③ 【市民会館】 既存施設の特に良い点、気に入っている点

- ✓ 「ホールなど活動・発表スペースの広さ」との回答が5割以上、「客席の広さが十分」「駐車場の台数が十分」で約4割の回答がある。

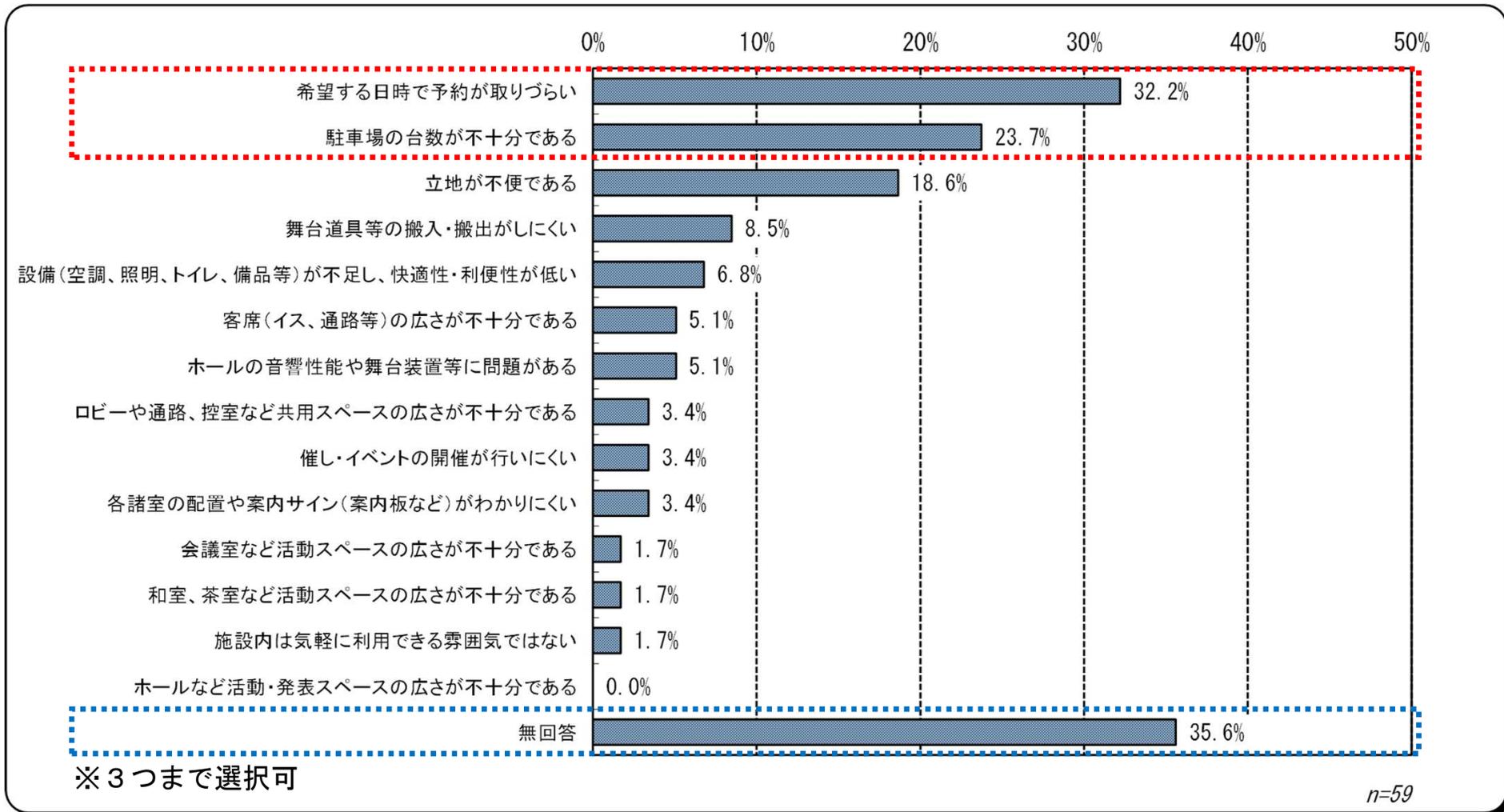


3) 利用者アンケート (抜粋)

■ 利用者アンケート調査結果 (暫定値)

④ 【市民会館】 既存施設を利用する際に特に困った点、不満点

- ✓ 「希望する日時で予約が取りづらい」が約3割、次いで「駐車場の台数が不十分」が2割以上となっている。一方、無回答も3割以上と多い。

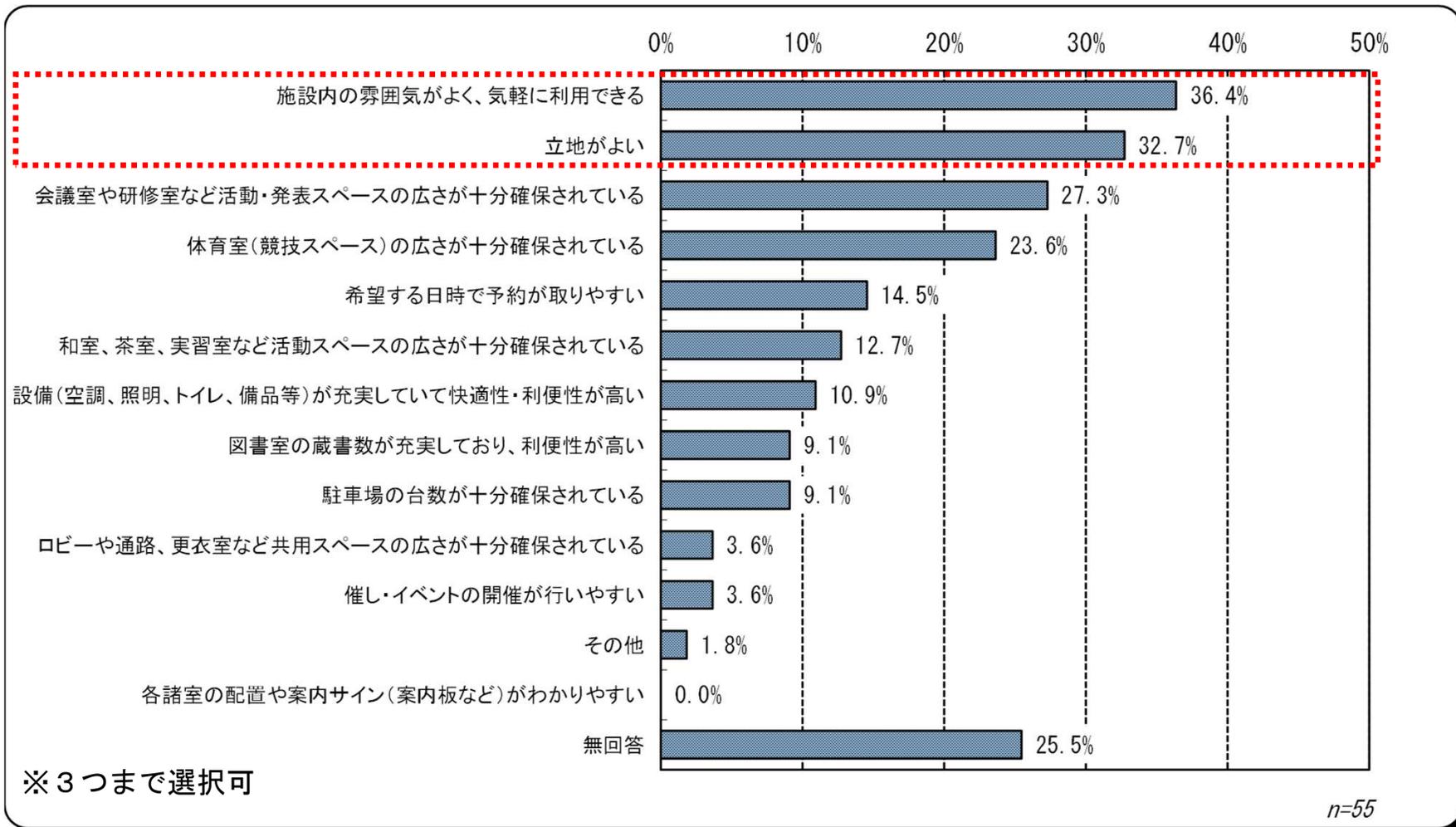


3) 利用者アンケート (抜粋)

■ 利用者アンケート調査結果 (暫定値)

⑤ 【五井公民館】 既存施設の特に良い点、気に入っている点

✓ 「施設内の雰囲気がよく、気軽に利用できる」「立地がよい」が3割以上となっている。

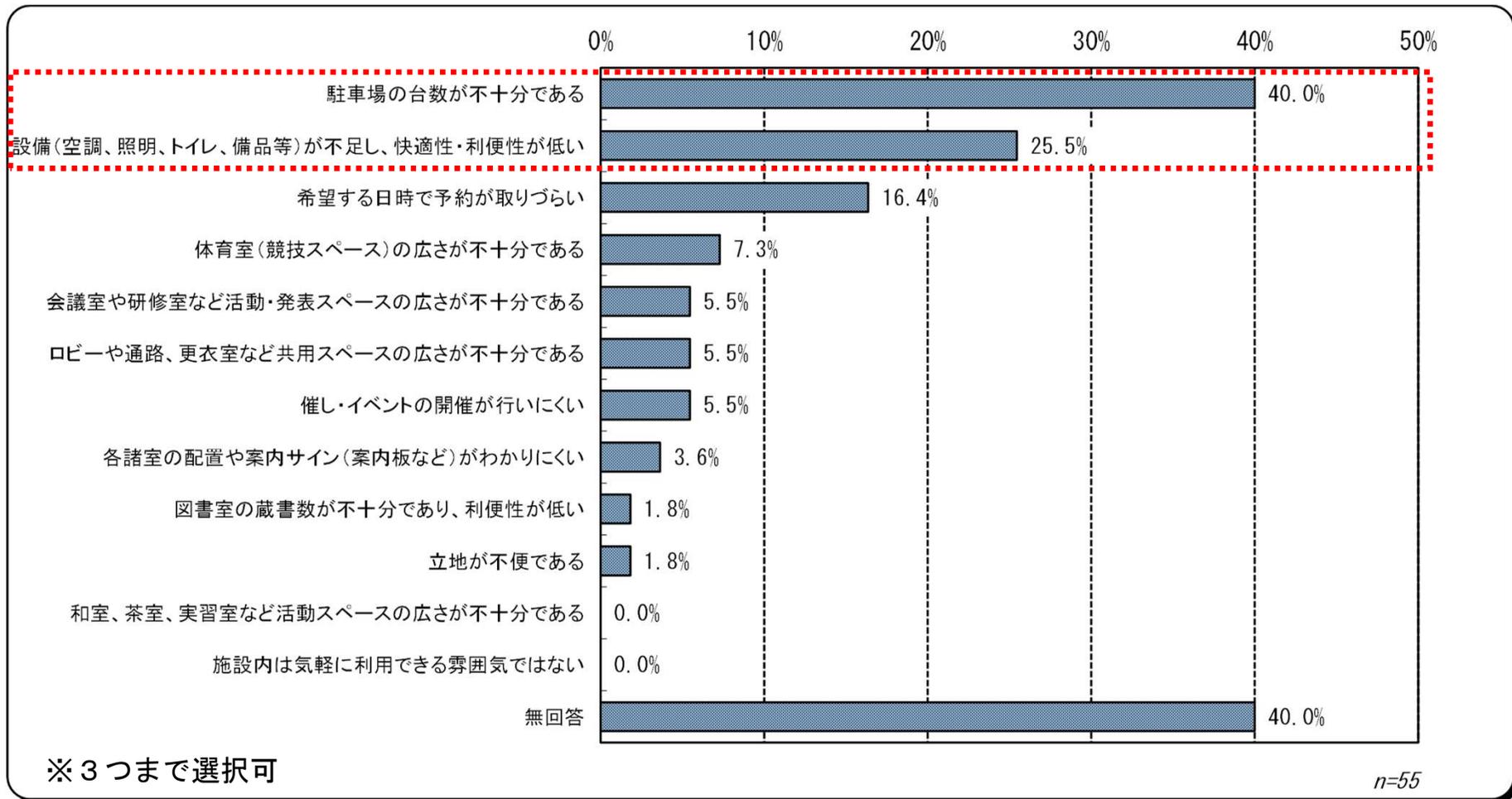


3) 利用者アンケート (抜粋)

■ 利用者アンケート調査結果 (暫定値)

⑥ 【五井公民館】 既存施設を利用する際に特に困った点、不満点

- ✓ 「駐車場の台数が不十分」が最も多く4割。次いで、「設備が不足し、快適性・利便性が低い」が2割以上となっている。



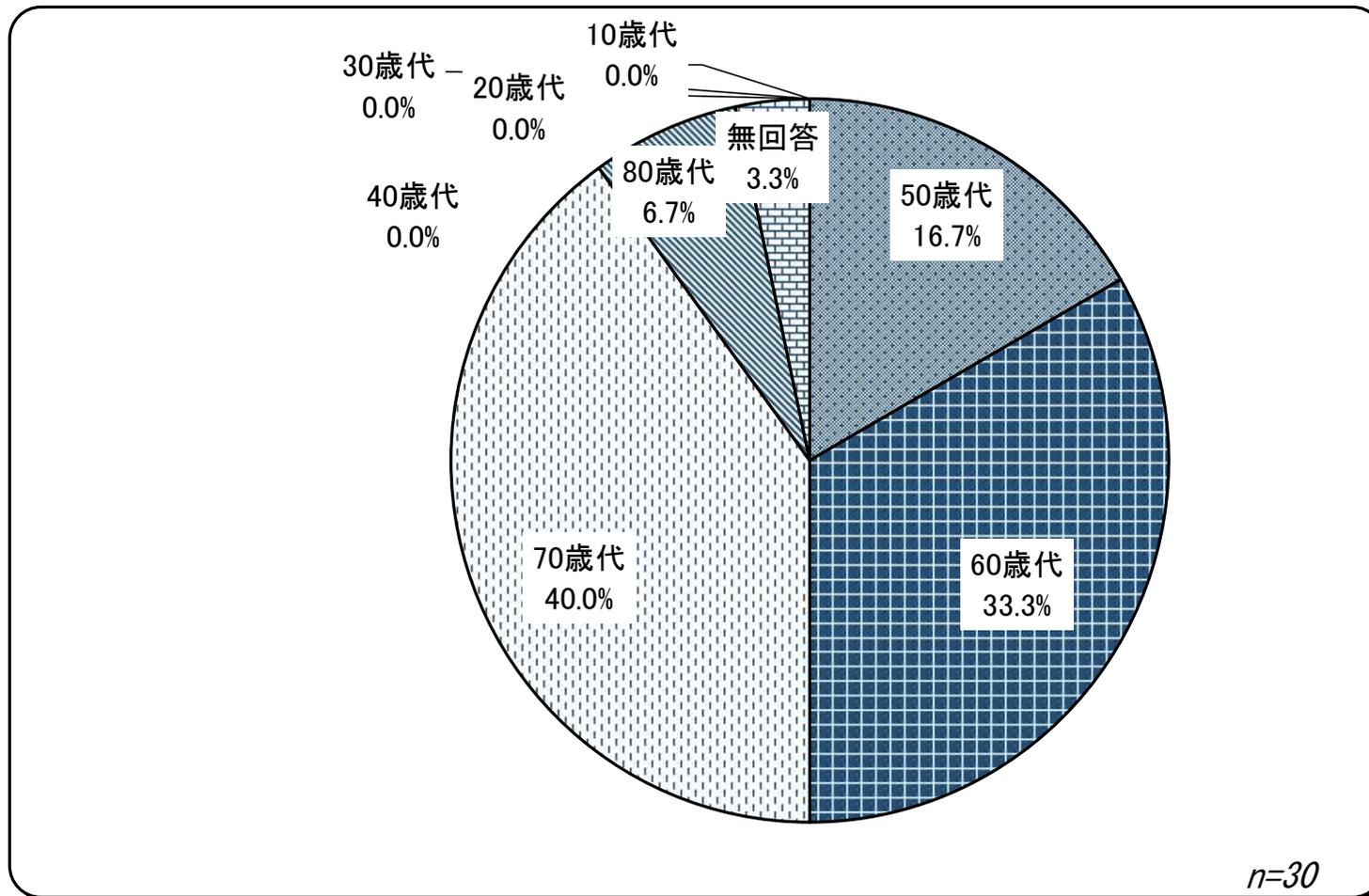
3) 利用者アンケート (抜粋)

■ 利用者アンケート調査結果 (暫定値)

資料P26参照

⑦ 【生涯学習センター】 利用者の年齢層

- ✓ 利用者の年齢は、70歳代が4割で最も多く、60歳代~70歳代で約7割を占める。40歳代以下の回答はなかった。



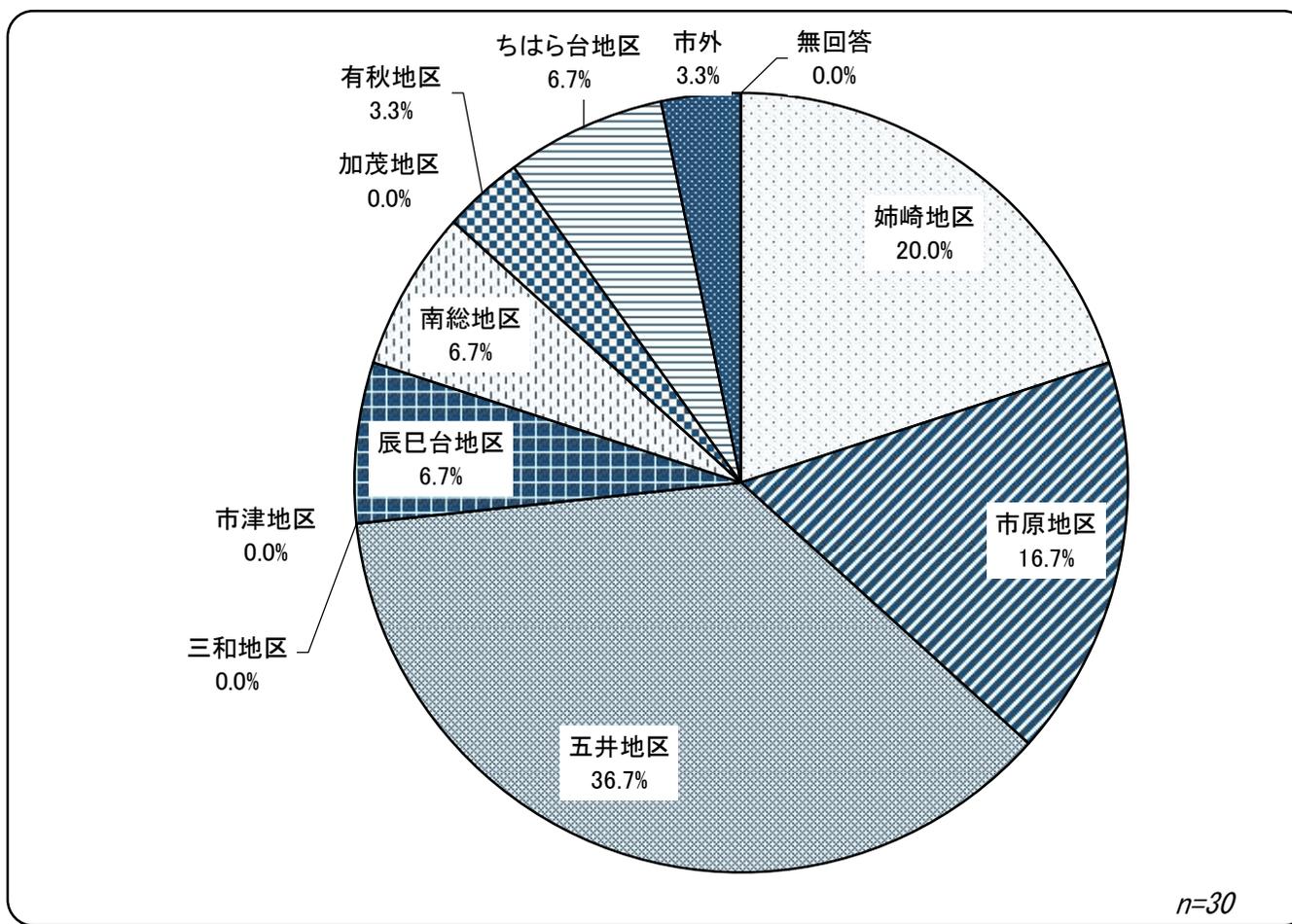
3) 利用者アンケート (抜粋)

■ 利用者アンケート調査結果 (暫定値)

資料P26参照

⑧ 【生涯学習センター】 利用者の居住地

- ✓ 利用者の居住地区は、五井地区が36.7%で最も多く、次いで姉崎地区が20%、市原地区が16.7%であった。その他の地区の居住者も生涯学習センターを利用している。



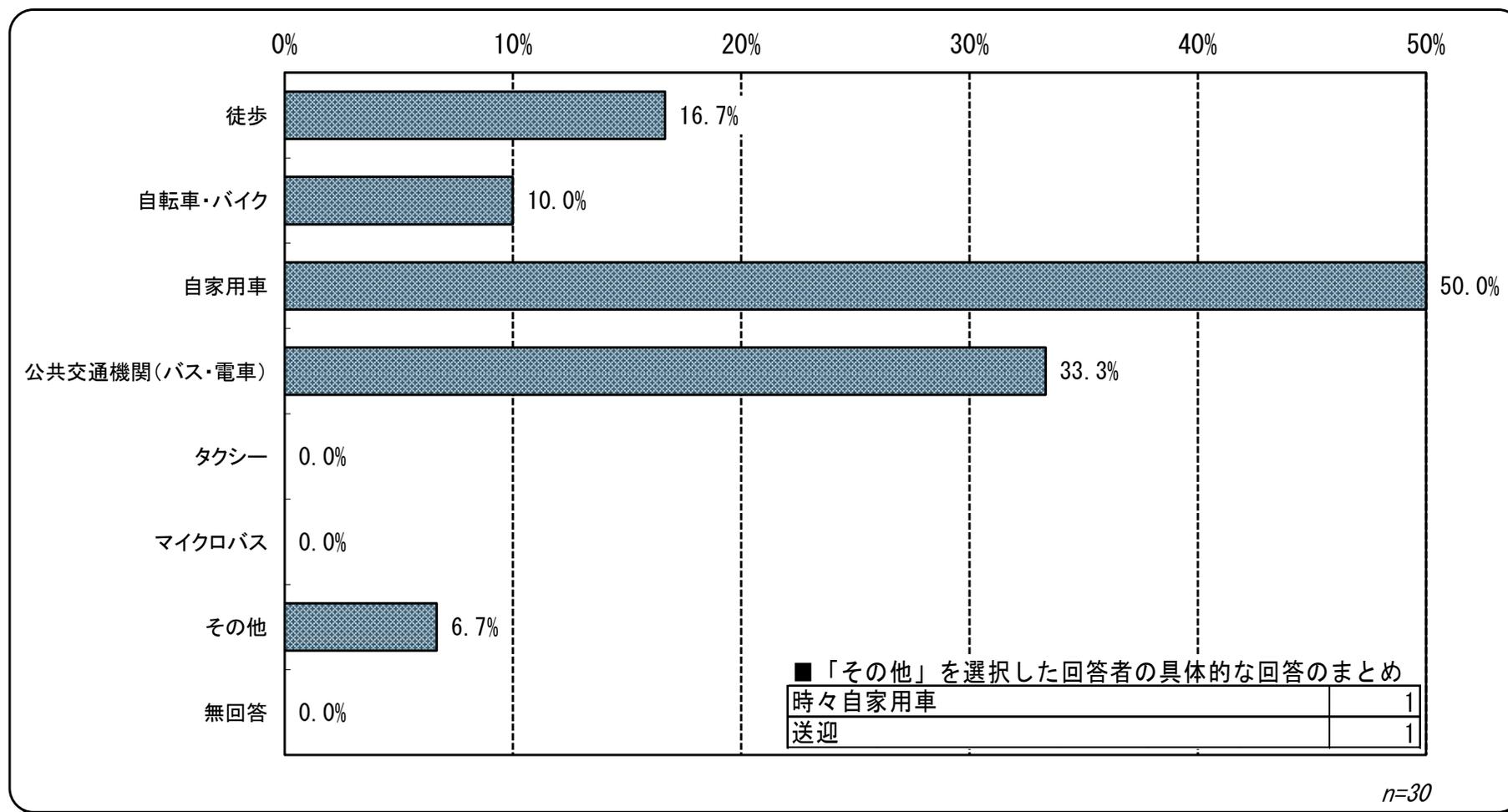
3) 利用者アンケート (抜粋)

■ 利用者アンケート調査結果 (暫定値)

資料P26参照

⑧ 【生涯学習センター】 利用者の交通手段

- ✓ 主な交通手段は、自家用車との回答が50%で最も多かった。次いで、公共交通機関（電車・バス）が約33%であった。



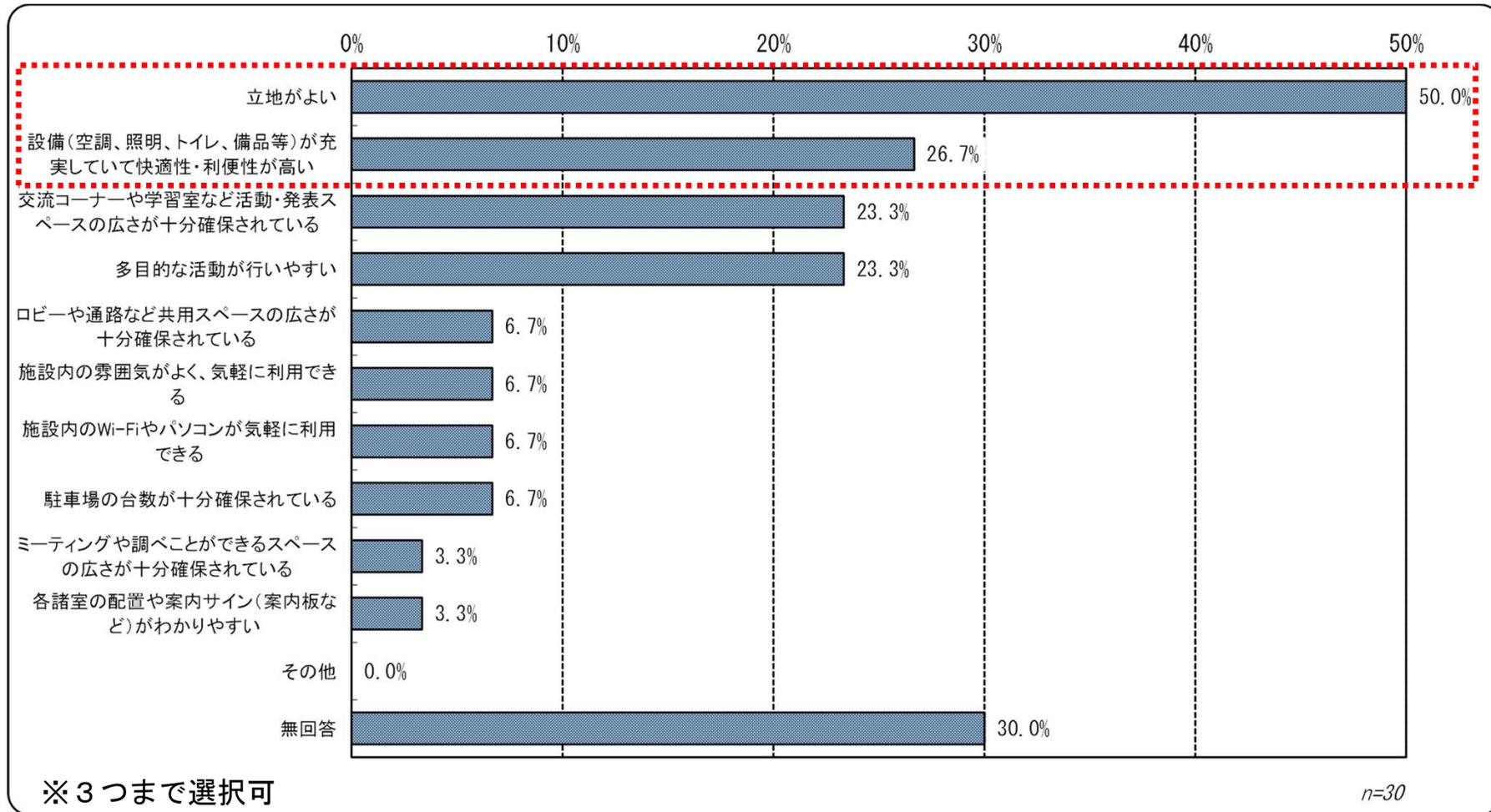
3) 利用者アンケート (抜粋)

■ 利用者アンケート調査結果 (暫定値)

資料P26参照

⑨ 【生涯学習センター】 既存施設の特に良い点、気に入っている点

- ✓ 「立地が良い」が最も多く50%、次いで「設備が充実していて快適性・利便性が高い」が約27%となっている。



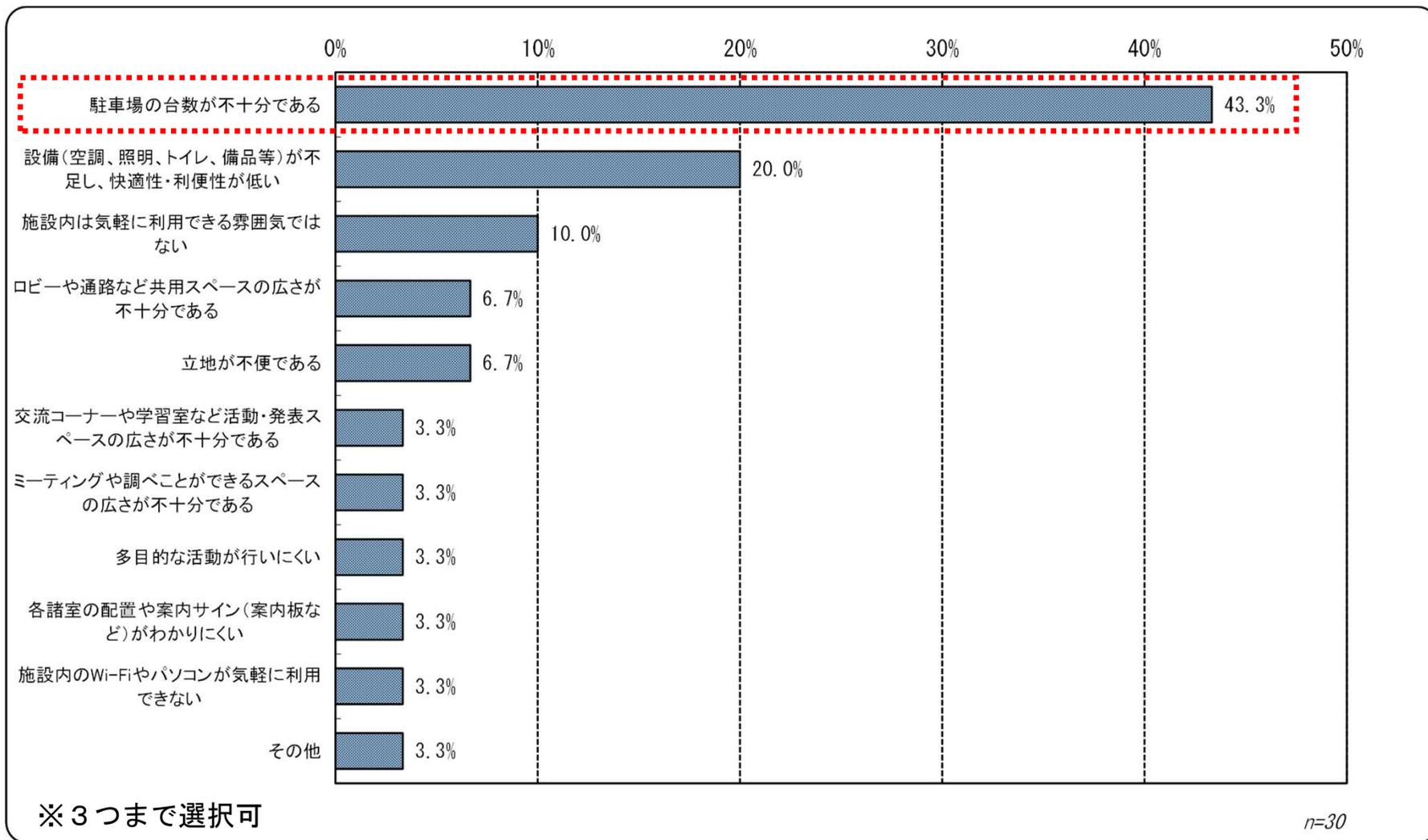
3) 利用者アンケート (抜粋)

■ 利用者アンケート調査結果 (暫定値)

資料P26参照

⑩ 【生涯学習センター】 既存施設を利用する際に特に困った点、不満点

✓ 「駐車場の台数が不十分」が最も多く約43%となっている。

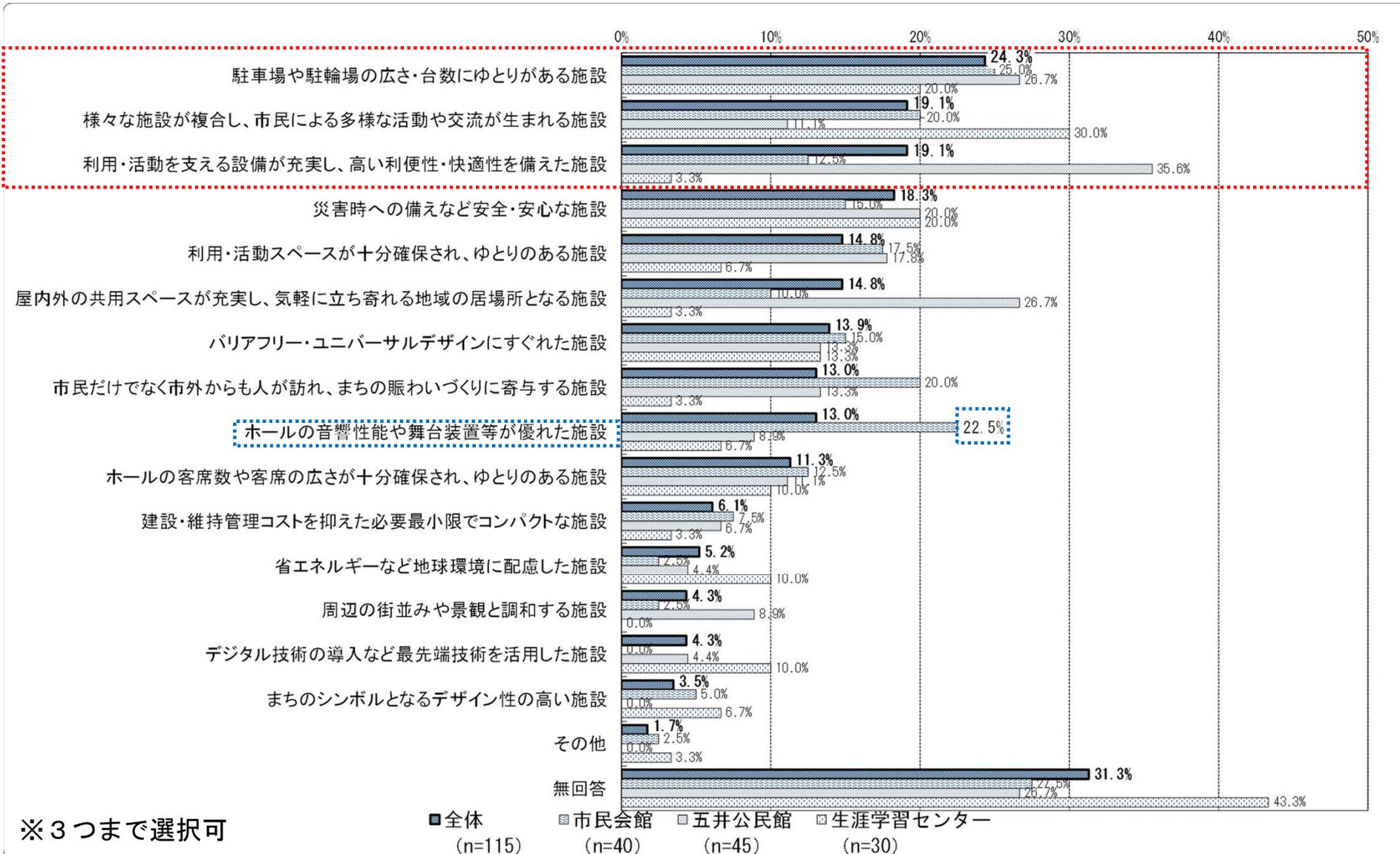


3) 利用者アンケート (抜粋)

■ 利用者アンケート調査結果 (暫定値)

資料P10参照

⑪ 新たに整備される文化交流施設で特に重視すること <施設面>



※ 3つまで選択可

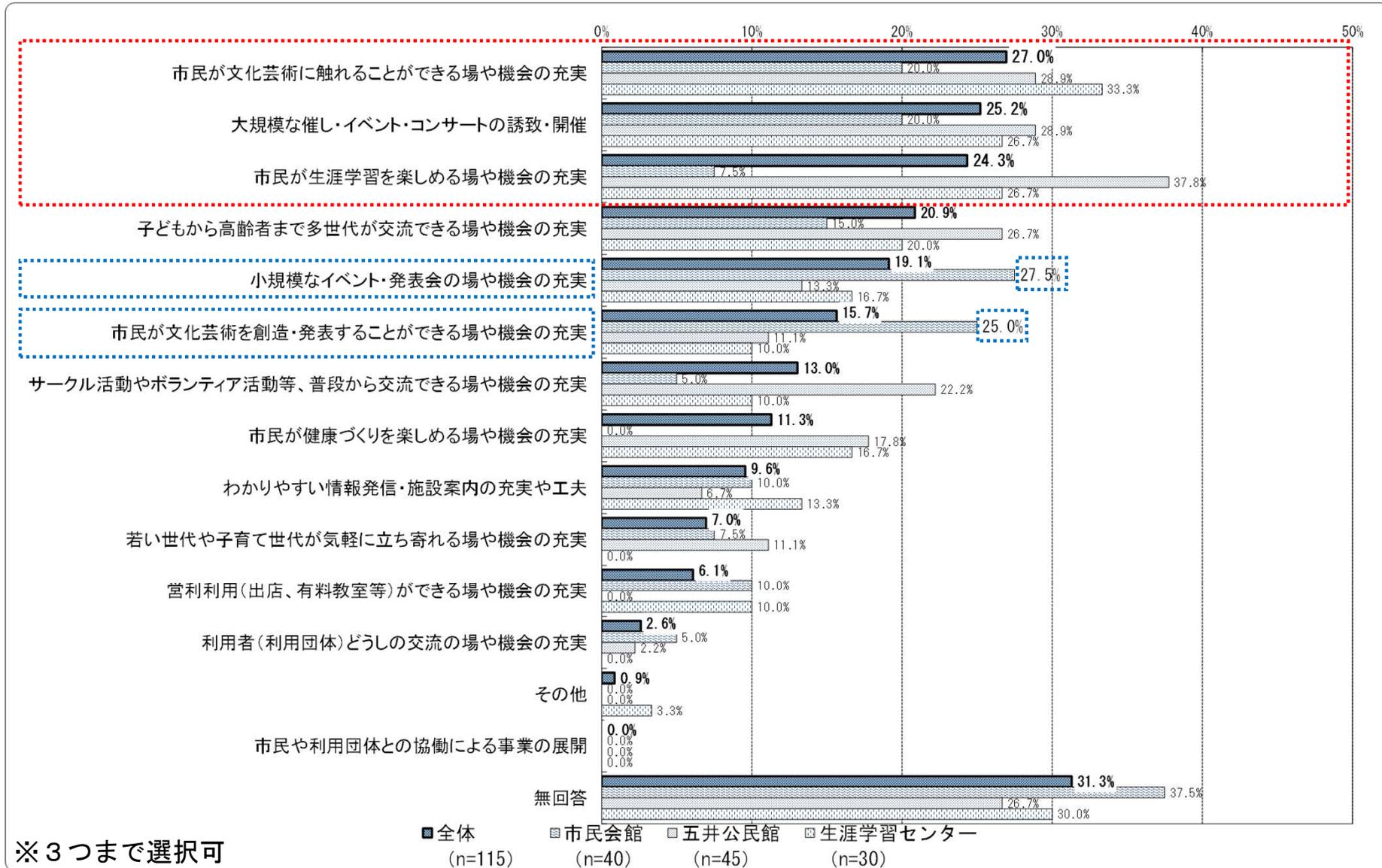
■ 全体 (n=115) ■ 市民会館 (n=40) ■ 五井公民館 (n=45) ■ 生涯学習センター (n=30)

3) 利用者アンケート (抜粋)

■ 利用者アンケート調査結果 (暫定値)

資料P10参照

⑪ 新たに整備される文化交流施設で特に重視すること <運営面>



4) 市民ワークショップの開催状況

資料P13参照

■ 市民ワークショップ (メンバー構成：関係団体、高校生、公募市民)

※2023年度(令和5年度)～2025年度(令和7年度)の間に、全8回程度開催予定(第3回まで実施済)

回数	日付(予定)	テーマ(案)
第1回	2023年10月29日(日) 14:00-16:30	①市民会館・まちのじまん・ふまん ②文化交流施設によって変わる未来像を考えよう!
第2回	2023年12月2日(土) 14:00-16:30	文化交流施設の年間スケジュールを考えよう
第3回	2024年2月17日(土) 13:30-17:00	①「交流」ってなんだろう?まちと、地域とつながるには? ②必要な機能を考えよう
第4回	2024年5月	必要な機能を具体的に考えよう
第5回	2024年6月	基本構想の検討状況について
第6回	2024年11～12月	使いやすい施設の配置を考えよう
第7回	2025年2月	あなたなら、ここで何をしますか?
第8回	2025年5月	どんなふうに関わっていきたい?

4) 市民ワークショップの開催状況

資料P13参照

<第1回ワークショップまとめ>

	市民会館	市原のまち	文化交流施設によって変わる未来像
じまん	<ul style="list-style-type: none"> ◇立地 <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏からのアクセスの良さ ・市役所の駐車場が使える ◇イベント <ul style="list-style-type: none"> ・有名アーティストの全国ツアー公演のスタート会場になることが多い ・大小規模イベントに対応 ◇施設（性能） <ul style="list-style-type: none"> ・音響が良い ・県内有数の規模 ◇施設（性能-観客目線） <ul style="list-style-type: none"> ・子どもとコンサート鑑賞 ・観やすい ◇施設（性能-出演者目線） <ul style="list-style-type: none"> ・広い舞台袖 ・楽屋が平場で使いやすい ◇施設（内装） <ul style="list-style-type: none"> ・開放的できれい 	<ul style="list-style-type: none"> ◇立地 <ul style="list-style-type: none"> ・東京や空港からのアクセスの良さ ◇イベント <ul style="list-style-type: none"> ・芸術祭など地域イベントが盛ん ◇歴史 <ul style="list-style-type: none"> ・歴史的魅力がある ◇政策（まちづくり） <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援や子どもの遊び場の充実 ・SDGs未来都市 ・開発の余地がある ◇市民性 <ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動が盛ん ・他者を受け入れる気質 ◇自然 <ul style="list-style-type: none"> ・里山や養老川など自然豊か 	<ul style="list-style-type: none"> ◇立地 <ul style="list-style-type: none"> ・全国や海外からアーティスト、観客が来る ・駅近くで文化芸術も身近に ・大小規模のイベントに対応できる駐車場 ・公演後も楽しめる周辺環境 ◇施設（性能） <ul style="list-style-type: none"> ・まちのシンボルに ・多様なニーズに応えうる ・バリアフリー化 ・アーティスト目線で考える ・学校行事と連携し施設に愛着を ・アート全般を内包したアートミックスのまちの顔に ・誰もがいつでも訪れる ・海外とつながる ◇施設（性能-観客目線） <ul style="list-style-type: none"> ・用事がなくても行きたくなる ・生き生きとした老後を過ごせる ・年間通じて大小イベントが開催されて利用者増加 ・プロの公演が増え文化活動に興味持つ人増加 ・気軽に立ち寄れる ・伝統を大切にし、伝承したくなる ◇施設（性能-出演者目線） <ul style="list-style-type: none"> ・手頃な使用料金やワンストップサービス導入で利用しやすく ◇政策（まちづくり） <ul style="list-style-type: none"> ・きめ細かい交通網、小湊鉄道活かした街の循環 ・ウォーカブルなまち ・自然を残した都市化、田園都市 ・バリアフリー化で誰もが住みやすい ・子育て世代や働き盛りの人が住みやすいまちへ ◇PR <ul style="list-style-type: none"> ・伝わる情報発信で利用者増加 ・ネット活用で若者利用の促進
ふまん	<ul style="list-style-type: none"> ◇立地 <ul style="list-style-type: none"> ・駅から遠くバスが少ない ・駐車場不足 ・近隣に商業施設なくさびしい ◇施設（性能） <ul style="list-style-type: none"> ・施設が古い、バリアフリー非対応 ・楽屋や茶室が使いづらい ・練習室やリハーサル室がない ・音響が悪い ・稼働率の悪い諸室がある ◇施設（性能-観客目線） <ul style="list-style-type: none"> ・若者利用少ない ・子どもと文化芸術に触れたい ・閉鎖的 ◇PR <ul style="list-style-type: none"> ・何をやっているか不明 	<ul style="list-style-type: none"> ◇立地 <ul style="list-style-type: none"> ・バスの本数が少ない ・車社会 ◇政策（まちづくり） <ul style="list-style-type: none"> ・まちの中心が不明瞭 ・駅周辺の賑わいが不足 ・道路整備の遅れ ・文化施設が貧弱 ◇市民性 <ul style="list-style-type: none"> ・市民の文化芸術への関心薄い ◇自然 <ul style="list-style-type: none"> ・景観保全できていない ◇PR <ul style="list-style-type: none"> ・周知不足 	

4) 市民ワークショップの開催状況

資料P13参照

<第2回ワークショップまとめ>

春 (3~5月)	夏 (6~8月)	秋 (9~11月)	冬 (12月~2月)
<ul style="list-style-type: none"> ◇体験・参加・交流×ホール <ul style="list-style-type: none"> ・市民コンサート ・新学期ウエルカムフェスティバル ・eスポーツ大会 ◇鑑賞×ホール <ul style="list-style-type: none"> ・春のクラシックコンサート ・市内出身芸能人の公演 ◇体験・参加・交流×諸室 <ul style="list-style-type: none"> ・茶道ワークショップ ・パン教室 ・友達作りイベント ・育児中の人向けイベント ◇体験・参加・交流×屋外・敷地外 <ul style="list-style-type: none"> ・体験できる演奏会 ・花見 ・シンボルロードで春や新緑を感じられるイベント ・農業体験 ・フリーマーケット ・自転車イベント 	<ul style="list-style-type: none"> ◇体験・参加・交流×ホール <ul style="list-style-type: none"> ・市民ミュージカル ・市民コンテスト ・地元住民出演ライブ ・配信ありのクイズ大会 ・アニメ祭り ◇鑑賞×ホール <ul style="list-style-type: none"> ・吹奏楽コンクール ・海外アーティストの演奏会 ・アジアの民族音楽コンサート ・映画祭 ・ 怪談講演 ◇体験・参加・交流×諸室 <ul style="list-style-type: none"> ・化学の楽しさ体験、工作体験 ・夏休みに親子で楽しめるワークショップ ・梅雨&猛暑でも楽しめる屋内イベント ・夏休み課題の見本市 ◇体験・参加・交流×屋外・敷地外 <ul style="list-style-type: none"> ・音楽フェス、スポーツフェス ・夏祭り、花火大会 ・自動車、バイクイベント 	<ul style="list-style-type: none"> ◇体験・参加・交流×ホール <ul style="list-style-type: none"> ・音楽祭、合唱祭、映画祭 ・市民文化祭 ◇鑑賞×ホール <ul style="list-style-type: none"> ・有名ピアノコンクール ・伝統芸能 ・ 演劇 ◇体験・参加・交流×諸室 <ul style="list-style-type: none"> ・クラフトマルシェ ・和室で百人一首大会 ・アートワークショップ ・アート展示 ◇体験・参加・交流×屋外・敷地外 <ul style="list-style-type: none"> ・観光イベント(チバニアン、ロケ地等) ・オクトーバーフェスト ・いちよう祭り ・夜のお月見イベント ・ジャズの演奏 ・ハロウィンパレード ・秋のイベント(芸術、スポーツ、食) 	<ul style="list-style-type: none"> ◇体験・参加・交流×ホール <ul style="list-style-type: none"> ・アマチュア第九コンサート ◇鑑賞×ホール <ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスコンサート ・オーケストラコンサート ・新邦楽祭り ◇体験・参加・交流×諸室 <ul style="list-style-type: none"> ・編み物体験 ・楽しい科学イベント ・美術展 ◇体験・参加・交流×屋外・敷地外 <ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスマーケット ・イルミネーション、プロジェクトマッピング ・餅つき大会、雑煮会 ・中学生、高校生による演奏会 ・マラソン大会 ・屋外で第九 ◇交流 <ul style="list-style-type: none"> ・地元プロスポーツチームとの交流
通年			
<ul style="list-style-type: none"> ◇体験・参加・交流×ホール <ul style="list-style-type: none"> ・市民コンサート ◇鑑賞×ホール <ul style="list-style-type: none"> ・名人寄席 ・NHKなどの公開番組 ・アーティストのライブ ・演劇 ・有名楽団クラシックコンサート ・日本文化芸能 	<ul style="list-style-type: none"> ◇体験・参加・交流×諸室 <ul style="list-style-type: none"> ・市民ギャラリー ・ 古本市 ・ 茶会 ・外国人や障がい者も参加できるイベント ・外国人向け言語サポートの場 ・多様なイベント、ワークショップ(アート、職業体験、健康促進、スポーツ、企業コラボ等) ・放課後楽校 ・ 学習支援 ・ 楽器等の練習 ・高齢者向けふれあいサロン ・ 敬老会 ・市内学校の文化部同士が交流できる場 ・子どもの創作の場 	<ul style="list-style-type: none"> ◇体験・参加・交流×屋外・敷地外 <ul style="list-style-type: none"> ・企業とのコラボイベント ・サイクリング ・スタンプラリー ・ストリートピアノ、ストリートダンス ・野外映画祭、音楽フェス ・アートミックスとの連携 ・屋外で能楽 ・ジャズの演奏 ・子どもが全力で遊べる場 	

4) 市民ワークショップの開催状況

資料P14参照

<第3回ワークショップまとめ>

「交流ってなんだろう？」	「まち・地域とつながる」を考える
<p>○こんな状態が交流！</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇人が集まる <ul style="list-style-type: none"> ・自分の思うことを表現できる ・人と人とが関わりあう ・空間を共有する ◇会話する <ul style="list-style-type: none"> ・意見を交わす ・どんな人でも話をしたりすれば交流である ◇興味を持つ、共感する <ul style="list-style-type: none"> ・同じ趣味を持つ仲間とつながる ・相手のことを知る ◇イベントが開催されている <ul style="list-style-type: none"> ・祭りなどでたくさんの人がいる ・ワークショップで意見を出し合う ◇文化芸術に触れる <ul style="list-style-type: none"> ・演奏会に実際に行ってその世界に触れる 	<p>○施設の交流を、まちへ・地域へひろげるには、つながるには？</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇市民参画・交流 <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアに高校生や大学生も参加できる ・SNSを通して実際に会わなくても会話できる ・誰とでも会話できる空間（カフェ） ・ファンクラブ開設 ◇ウォーカブルなまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・駅から文化交流施設までの動線づくり ◇地域への誇り <ul style="list-style-type: none"> ・自分のまちについて考える ・地域の企業、人ファースト ・住民の意識の目覚め ◇文化交流施設を拠点に地域を巻き込むイベント <ul style="list-style-type: none"> ・幅広い世代の人が参加できるイベントの開催 ・スタンプラリー ・町会、自治会のイベントとの連携 ・市内で同日にイベント ・施設同士が協力してイベント開催 ・市内飲食店に協力してもらう ・市内外のイベントとコラボ ◇アートミックス等との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・アートイベントと室内ギャラリー展示 ・音楽と美術のコラボイベント ◇情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・サイト、SNS、チラシなどで情報発信をする ・スポンサー、応援してくれる人探し ・市原市内のメディアを活用 ・公式キャラクター作成 ◇地域団体等との連携 <ul style="list-style-type: none"> ・町会、自治会 ・ボランティア団体 ・民間企業 ・アーティスト、学生
<p>○交流が生まれるためにはなにが必要？</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇誰もが気軽に集まれる場所 <ul style="list-style-type: none"> ・サードプレイス（第三の居場所） ・出会いのきっかけになる場所 ・大規模～小規模の行事ができる場所 ・フリースペース ・フードコート ・託児システムが整備された場所 ◇誰もが気軽に参加できるイベント <ul style="list-style-type: none"> ・祭りなど日本の行事に関するイベント ・1回だけでなく定期的に会えるイベント ・世代に関係なく参加できるイベント ◇交流する相手に対する気持ち <ul style="list-style-type: none"> ・行動力、興味 ・同じ気持ちを持っていること ・共通の趣味、楽しい話題があること 	

4) 市民ワークショップの開催状況

資料P14参照

<第3回ワークショップまとめ>

やりたいこと・やってほしいことを実現するために必要な施設機能

◇ホール

- ・世界に誇れるホール
- ・常にフェスが開催できる
- ・1,500席以上の大規模イベントができる
- ・オーケストラを呼んでコンサートができる
- ・音響性能の良いホール
- ・気軽に使える小ホール
- ・小さなオペラ座のような演劇専用劇場
- ・車いす席、ファミリー席、VIP席
- ・舞台が見やすい客席配置

◇ホール付帯諸室

- ・使い勝手のよい楽屋構成
- ・大中小リハーサル室
- ・防音機能のあるリハーサル室

◇ギャラリー

- ・市民が自由に使える市民ギャラリー

◇活動諸室

- ・申請を出せばだれでも借りられる部屋
- ・食べ物を提供できる調理室、シェアキッチン
- ・練習の様子が外から見えるガラス張り練習室
- ・ダンス利用できる鏡付き練習室
- ・音楽利用できる防音練習室
- ・大きな机のあるアトリエ、工作室
- ・茶会、邦楽練習で使える畳敷きの部屋

◇フリースペース・共用部

- ・勉強スペース+グループで話したりできるところ
- ・用事がなくとも立ち寄れる場
- ・ポスターや掲示板、サテライトブース設置で情報発信
- ・ストリートピアノ設置
- ・相談コーナー設置

◇会議室・研修室

- ・コワーキングスペース
- ・WEB会議ができる部屋
- ・可動式の壁で部屋の広さを変えられる

◇カフェ・レストラン

- ・飲食OKスペース、カフェ
- ・地産地消のフードコート

◇運動室

- ・トレーニングルーム
- ・気軽に利用しやすいジム

◇託児室

- ・キッズスペース
- ・子育て支援機能

◇外部空間

- ・屋外ステージ
- ・のんびり過ごせる
- ・屋根付きの屋外休憩スペース

◇駐車場・アクセス

- ・駅から施設まで歩きたくなる道
- ・駅～施設間のシャトルバス運行
- ・広い駐車場、駐輪場

◇施設全体

- ・美しい施設
- ・バリアフリー
- ・通信回線（LANケーブル・専用回線）
- ・最新の機材がある
- ・利用制限をできる限り緩和
- ・ボランティア参加、相談
- ・人材の育成ができる
- ・市原らしさを施設に表現

5) 先進事例 ①水戸市民会館

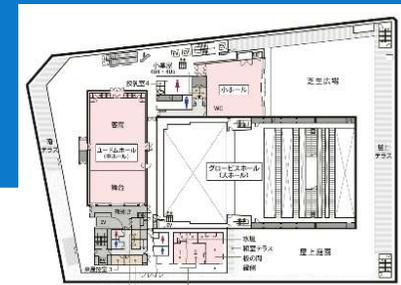
施設名(場所)	水戸市民会館(茨城県水戸市)
開館年月	2023年(令和5年)7月
面積	敷地面積: 8,284.95㎡ / 建築面積: 6,952.37㎡ / 延床面積: 23,232.35㎡
構造・階数	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造及び木造 / 地上4階 地下2階建
ホール席数	大ホール: 2,000席 / 中ホール: 482席 / 小ホール: 192人(平土間)
複合施設の内容	展示室、会議室、和室、ラウンジギャラリー、屋内広場 等
アクセス	水戸駅(JR線)から徒歩20分、路線バス「泉町一丁目」下車、徒歩1分



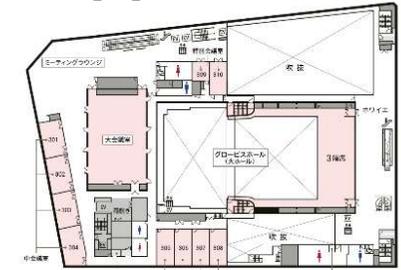
建物外観



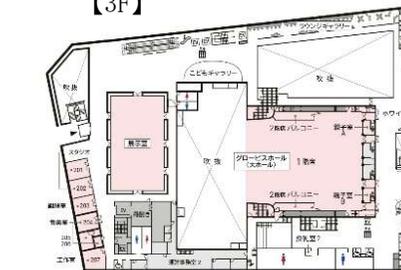
ホール内観



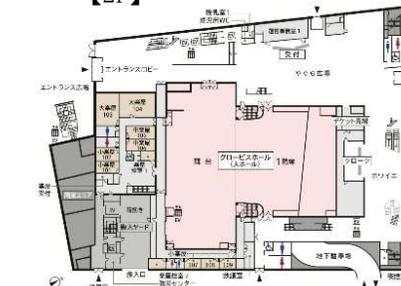
【4F】



【3F】



【2F】



【1F】

注目ポイント

- 子どもから高齢者まで、あらゆる市民が日常的に施設に立ち寄り、憩い、くつろぎ、楽しめる屋内広場や、学生等が気軽に利用できるラウンジギャラリー等により、居心地の良いサードプレイスを市民に提供し、さまざまな世代が幅広い活動を通して相互に交流することができる施設。
- 基本方針の一つに「人にやさしく、アートな景観、文化あふれるまちの拠点」を掲げ、芸術や文化の創造活動を通じて泉町1丁目南北地区をはじめとした近隣の商業施設、偕楽園や弘道館等の歴史的資源、既存の文化施設等と連携しながら、まちづくりに積極的に関わる施設を目指す。
- 木製の柱・梁を組み上げてつくられる屋内広場(やぐら広場: 約280㎡、収容人数500人)では販売会やパネル展示、スポーツ観戦などのパブリックビューイングが開催可能。



1階: やぐら広場



2階: こどもギャラリー



3階: ミーティングギャラリー

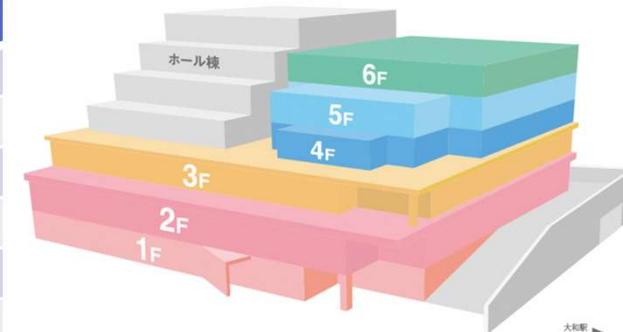


2階: ラウンジギャラリー

(写真等出典: 水戸市ホームページ、水戸市民会館ホームページ)

5) 先進事例 ②大和市文化創造拠点シリウス

施設名(場所)	大和市文化創造拠点シリウス(神奈川県大和市)
開館年月	2016年(平成28年)11月
面積	敷地面積: 9,378㎡ / 建築面積: 7,400㎡ / 延床面積: 26,003㎡
構造・階数	鉄骨鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 / 地上6階 地下1階建
ホール席数	大ホール: 1,007席 / 小ホール: 272席
複合施設の内容	ホール、図書館、生涯学習センター、屋内こども広場、カフェ
アクセス	大和駅(相鉄本線・小田急江ノ島線)から徒歩3分



建物外観



ホール内観

階	テーマ	
6階	仲間と集い学ぶ 生涯学習センター	ホール棟
5階	調べて学ぶ 図書館	
4階	くつろぎながら本に親しむ 健康都市図書館	
3階	思い切り遊んで学ぶ 大和こどもの国	
2階	楽しく語り集う 市民交流のフロア	
1階	感動が生まれる 感性と創造の場	

🔍注目ポイント

- 図書館、芸術文化ホール、生涯学習センター、屋内こども広場の4施設を中核とし、各施設の個性を融合することで、各フロアのテーマに沿ったサービスを提供している。
- ホールの主催事業の中で終了時間が午後7時を過ぎる事業に関しては、こども広場と連携をして託児サービスを行い、子育て世代の方にも芸術に親しむことができるように配慮している。
- 開館から3年で累計来館者数1000万人を超え、図書館を含む複合施設として来館者数は日本一と言われている。



6階:生涯学習センター(市民交流スペース)



4階:健康コーナー・健康テラス



1階:図書館(一般開架)



2階:市民交流ラウンジ



3階:屋内子ども広場



3階:図書館(児童書コーナー)

(写真等出典: 大和市ホームページ、大和市文化創造拠点シリウスホームページ)